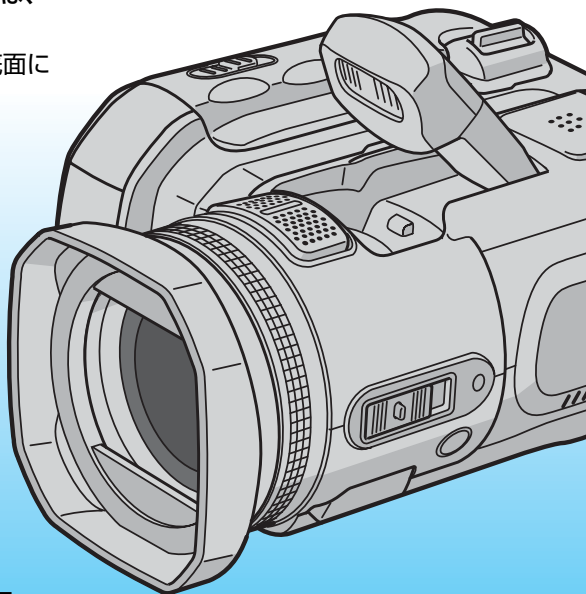
ハードディスクムービー

型名 GZ-MC500

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

ご使用のまえに

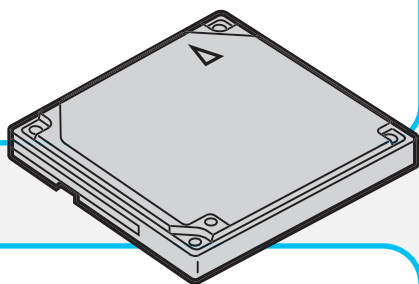
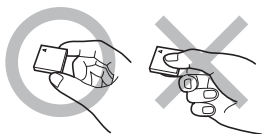
**この取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。
特に「小型ハードディスク取り扱い上のご注意」(P.2)、
「安全上のご注意」(P.98) および
「使用上のご注意」(P.6) は、
必ずお読みください。**
[本機の製造年は、本体底面に
表示されています。]

For English Users

To change the Menu
indications etc. to
English, see page P.97.
(本体画面の表示などを英語に変えるには、P.97 をご覧ください。)

LYT1422-001B

小型ハードディスク取り扱い上のご注意

小型ハードディスクは精密機器です 衝撃を与えたり、力を加えないでください

- カメラが小型ハードディスクを認識しなくなったり、記録や再生ができなくなります。
- 特に撮影中や再生中には、衝撃を与えないでください。
- カメラから取り出した場合は、付属の保護ケースに入れて保管してください。
- ラベル面を強く持ったり、ラベル面に文字を記入するなど、外部から強い力を加えないでください。

温度に関するご注意

- 正しく記録および再生するために、カメラの内部温度が上がったときや温度が低すぎるときに、保護回路が働き、記録や再生ができないことがあります。(P.34 、36、96)
- 長時間使用していると、カメラおよび小型ハードディスクが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- カメラから小型ハードディスクを取り出すときはご注意ください。撮影と再生のあとは、カメラからすぐに取り出さないでください。

その他のご注意

- 大事な記録データを保護するために、記録したファイルはパソコンへコピーしてください。(さらに、パソコンから DVD などにコピーして保存することをお勧めします。)
- 水に濡らさないでください。つゆが付いたときなどは、十分に乾かしてからご使用ください。
- 強い磁気や静電気の発生する場所に近づけないでください。
- 小型ハードディスクの動作中(アクセスランプ点滅中)はバッテリーや AC アダプターを取りはずさないでください。
- 性能維持のために、定期的にクリーンアップ(P.82)やチェックディスク※を実行してください。

※ まず、USB ケーブルでカメラをパソコンに接続し、カメラをリムーバブルディスクとします(P.66)。次に、パソコンのハードディスクをチェックディスクするときと同じ方法で、リムーバブルディスクをチェックディスクします。パソコンの取扱説明書もご覧ください。

廃棄／譲渡するときのご注意

- カメラやパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、ハードディスク内のデータは完全には消去されません。そのため、メディアを廃棄／譲渡したあとで、重要なデータが流出してトラブルになる可能性があります。トラブルを回避するには、市販の専用ソフトウェアを使ってハードディスク内のデータを完全に消去するか、金槌や強磁気によってハードディスクを物理的または磁気的に破壊することを推奨します。この処理は、お客様の責任において行ってください。万一、個人データが漏洩した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

もくじ

はじめに

準備する

すぐ使う

もっと撮る

編集と印刷

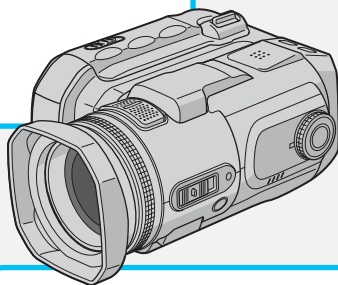
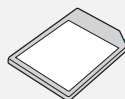
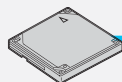
設定する

困ったときは

その他

使用上のご注意

このカメラについて

- **SD-VIDEO 規格に準拠した MPEG2 方式で動画を記録・再生します。DV 方式やその他の方式のビデオとは、互換性がありません。**
- **電源（バッテリーや AC アダプター）をはずすときは、必ず電源を切ってください。**
  動作中にはずすと、メディアの損傷や誤動作の原因になります。
- **使わないときは、電源を切ってください。**
  入れたままだと表面が温かくなります。
- **長期間使わない場合は、メディアを取り出し、電源を切り、バッテリーを取りはずしてください。**
  ときどき電源を入れて、動作を点検してください。
- **次のような場所に、置かないでください。**
  ・高温になる場所（晴天時の閉め切った車内など）
  ・直射日光が当たる場所
  ・ゴムまたはプラスチック製品に接触する場所

液晶画面について

- **表面を強く押したり強い衝撃を与えたりしないでください。**
  傷がついたり、割れる場合があります。
- **小さく光る点（赤・青・緑）や黒い点は故障ではありません。**
  メディアには保存されません。

著作権について

- **録画・撮影・録音したものは個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。**
- **鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。**

メディアについて

- 小型ハードディスクを含むコンパクトフラッシュカード (CF カード) と SD メモリーカード (SD カード) をお使いになれます。
- 不具合により正常に動作しないことがあります。
  内容の補償はご容赦ください。
- 記録したファイルはパソコンへコピーしてください。
  データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。パソコンから DVD などにコピーして保存することをお勧めします。
- データの破損やメディアの故障を防ぐため、「記録用のメディア」(P.10) のご注意をお読みください。

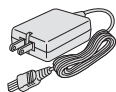
バッテリー（充電式電池）について

- 小型で高容量のリチウムイオンバッテリーです。
- 低温 (10 ℃以下) では、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。
  冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。カイロなどに直接ふれないよう、ご注意してください。
- 長期間保管するときは、バッテリーの劣化を防ぐため、次の操作で使いきってください。さらに、半年に 1 回程度充電し、再び使いきってから保管してください。
  1)エコノミーモードで動画を撮影する。
  2)電源が自動的に切れるまで待ち、バッテリーを取りはずす。
- 使わないときは、バッテリー残量が減るのを防ぐため、必ず取りはずしてください。
- 取りはずしたバッテリーは、バッテリーキャップを取り付けて、約 15 ～ 25 ℃の乾燥したところで保管してください。
- バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
  安全のため、バッテリーキャップを取り付けるか、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。
  ・お問い合わせ：小形二次電池再資源化推進センター
  　http://www.jbrc.com/
  ※見られない場合は、裏表紙のお客様ご相談センターへ

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

はじめにお確かめください

付属品

万が一、不足品がございましたら、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口にお問いあわせください。

ACアダプター
AP-V14
(LY21103-003C)

バッテリーパック
BN-VM200

小型ハードディスク
4GB

小型ハードディスク
保護ケース

ストラップ

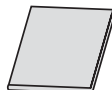
S/AVコード

専用USBケーブル
Aタイプ
－ミニBタイプ

ヘッドホンコード

レンズキャップ

CD-ROM

大（1個）　中（1個）　小（2個）
フェライトコア

取扱説明書
（本書）

取扱説明書
-インストール編-

お知らせ ●小型ハードディスクと保護ケースは、銀色の袋に入っています。

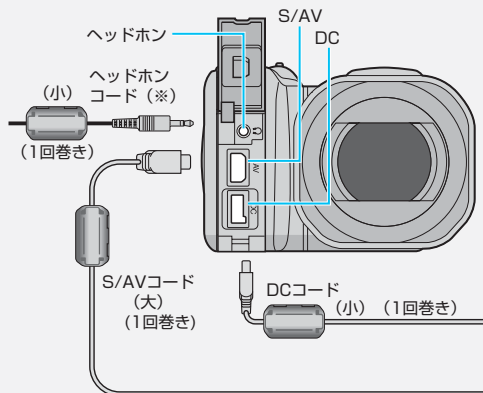
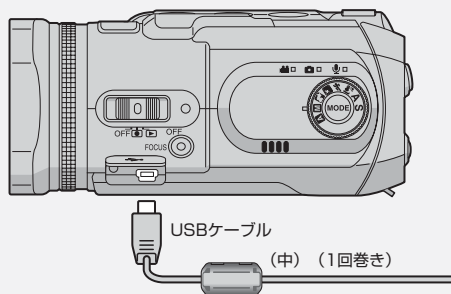
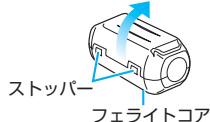
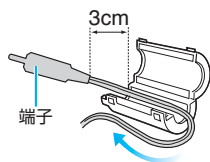
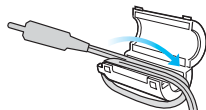
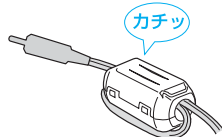
別売アクセサリー

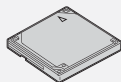
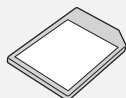
詳しくはカタログをご覧ください。

バッテリーパック	BN-VM200
バッテリーチャージャー	AA-V200
マイクロドライブ	CU-MD04J
キャリングケース	CB-VM20

バッテリーキット	VU-V840KIT
バッテリーキット	VU-V856KIT
DC コード	VC-VBN800

接続時のノイズをおさえるために

コードやケーブルをお使いの場合は、フェライトコアを必ず取り付けてください。本機と外部機器を接続したときに発生するノイズを軽減できます。

※ ヘッドホンコードは本機にヘッドホン（市販）を接続するときに使います。

1 両側のストッパーをはずし、開く

2 端子から約3cmの位置に取り付ける

3 1 回巻き付ける

4 コードをはさみ、カチッと音がするまで閉じる

記録用のメディア

コンパクトフラッシュカード、または SD メモリーカードをお使いになれます。付属の小型ハードディスクやマイクロドライブは、CF+ Type II に準拠したコンパクトフラッシュカードの一種です。

コンパクトフラッシュカード
(CF カード)

SD メモリーカード
(SD カード)

■データとメディアを守るには (使用上のご注意)

記録したデータの破損やメディアの故障を防ぐため、次のことを守る。

・ 水に濡らさない。
・ 強い静電気や電気的ノイズの発生しやすいところでの使用、交換、保管しない。
・ 撮影中や再生中などメディアにアクセスしているあいだは、カメラの電源を切ったり、バッテリーや AC アダプターを取りはずさない。
・ 強い磁気を持っているもの、強い電磁波を出すものを近付けない。
・ 高温多湿になる場所で保管しない。
・ 曲げたり、落としたり、強い力、衝撃、振動を与えない。
・ メディアの金属部分にさわらない。

お知らせ ●動作確認済みのメディアについて (P.25)。

他社製品の登録商標と商標について

● 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
● Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
● MASCOT CAPSULE
MascotCapsule は、株式会社エイチアイの日本国における登録商標です。

● Microdrive® は、株式会社日立グローバルストレージテクノロジーズの登録商標です。
● その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

各部のなまえ

左側面

背面

液晶画面

アクセスランプ
メディアへの書き込み中 (記録) や、
読み出し中 (再生) に、点灯または点滅する。

ACCESS

撮影ボタン (P.34 、38、40)

MENU ボタン (P.78)

MENU

SET

上
(逆光補正 (P.51 、52)
／ファイル先頭へ)

左
(フラッシュ設定 (P.46)
／巻き戻し)

右
(連写 (P.56)
／ ブラケット (P.53)
／早送り)

十字レバー
(▶II 再生／一時停止)

下
(MSET マニュアル設定 (P.54)
／次ファイルへ)

上面

取り出しレバー
(P.22 、20)

フォーカス
リング
(P.50)

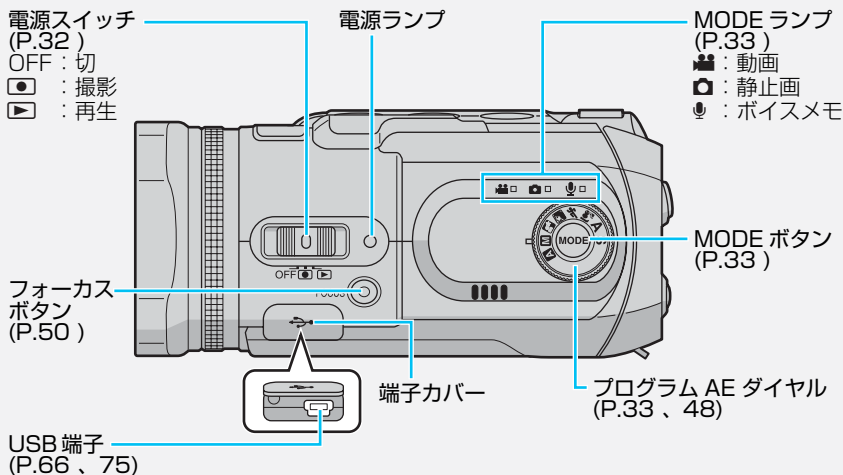
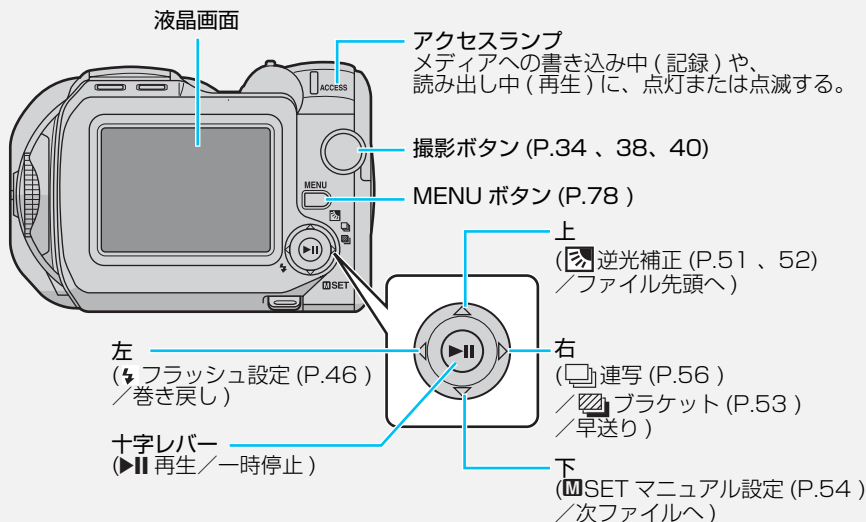
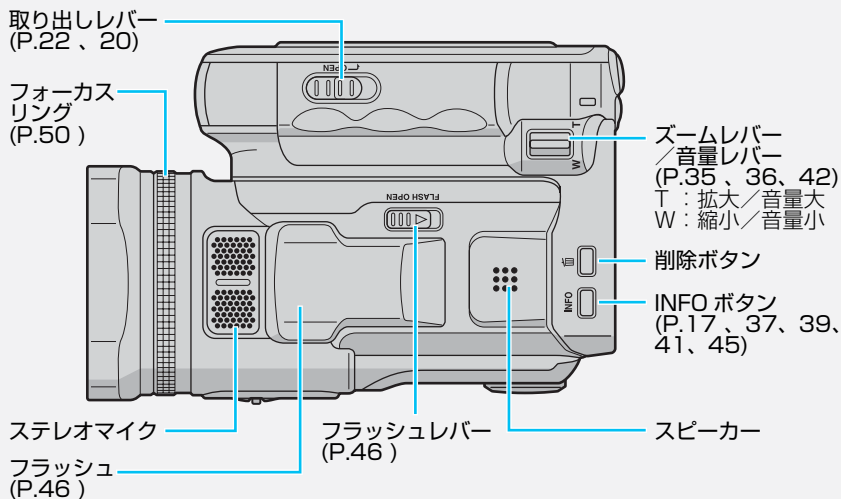
ズームレバー
／音量レバー
(P.35 、36、42)
T ：拡大／音量大
W：縮小／音量小

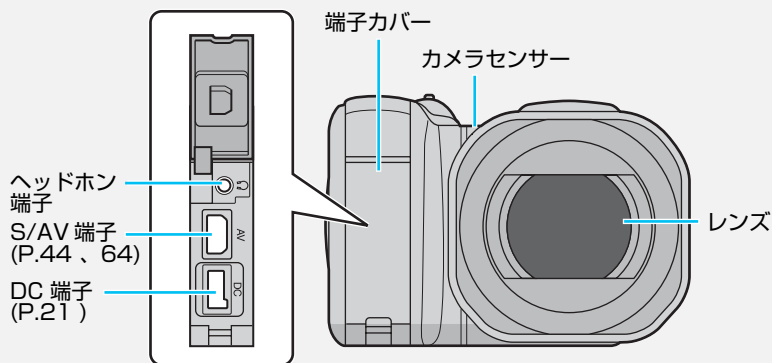
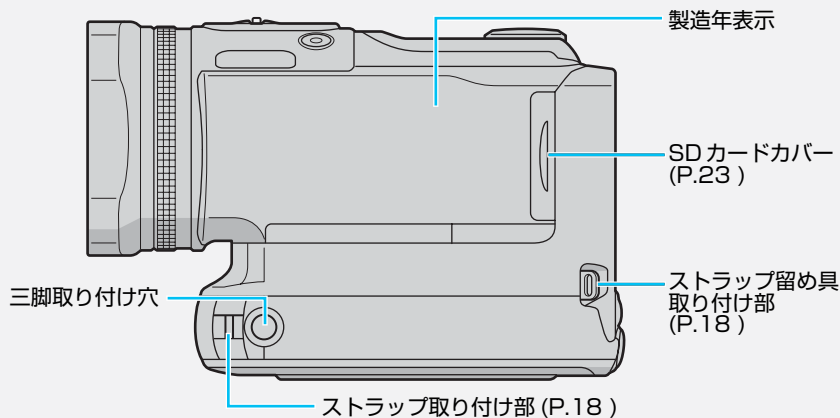
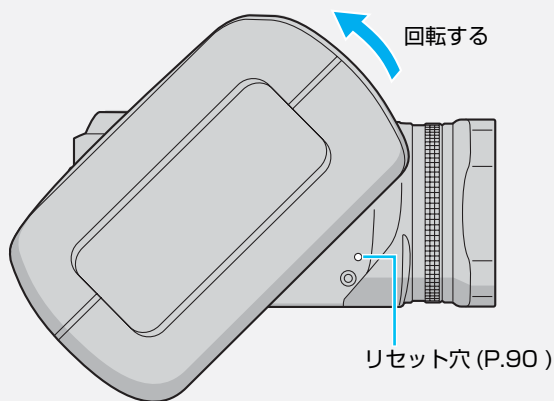
削除ボタン

INFO ボタン
(P.17 、37、39、
41、45)

ステレオマイク

フラッシュレバー
(P.46)

スピーカー

フラッシュ
(P.46)

前面

底面

右側面

お知らせ
●撮影するときは、レンズ、ステレオマイク、カメラセンサー、フラッシュ付近を指などでふさがないでください。
●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。ご了承ください。

撮影画面の見かた

動画と静止画の撮影に共通の表示

撮影モード
A オート (P.33)
M マニュアル (P.48)

明るさ補正
逆光補正 (P.51)
スポット補正 (P.52)
数字 明るさ補正 (P.55)

テレマクロ (P.85 、86)

ズーム倍率 (P.35 、85)

ズーム (P.35)

プログラム AE
(P.48)

明るさ固定 (P.52 、55)

シャッター速度
(P.38 、49)

エフェクト (P.55)

画面明るさ (P.83)

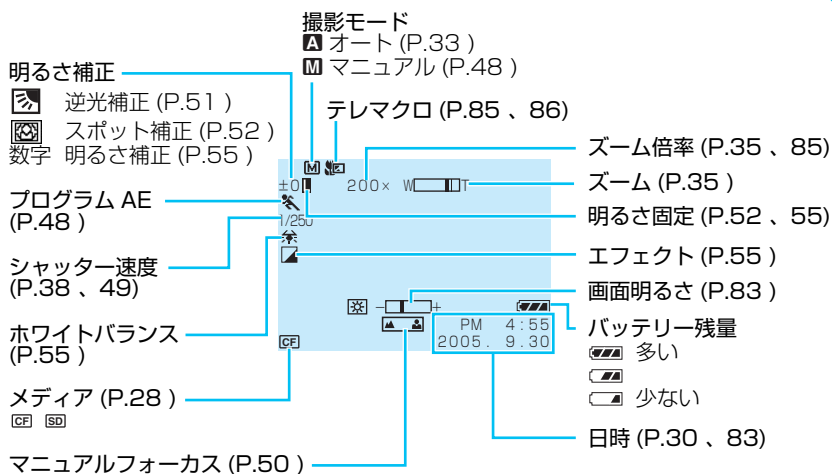
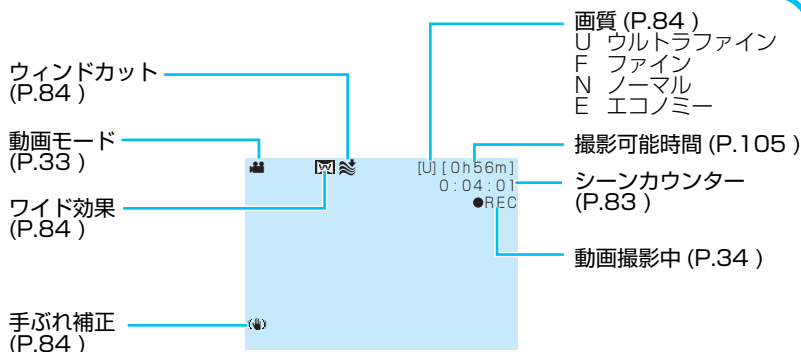
ホワイトバランス
(P.55)

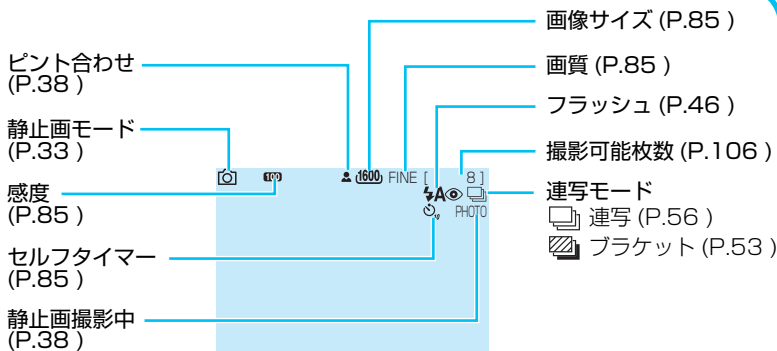
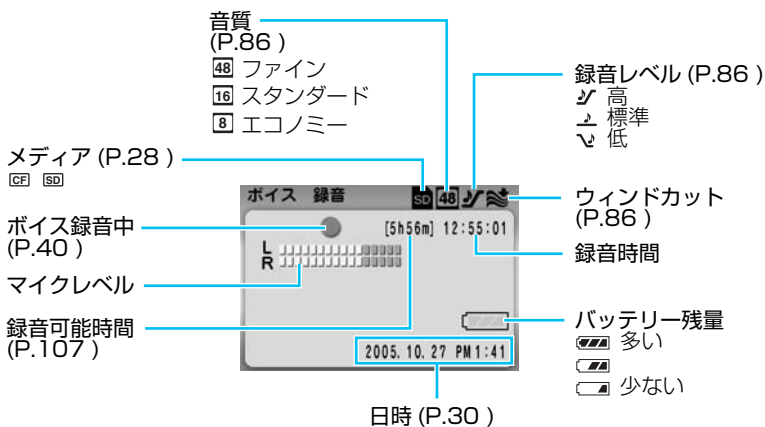
バッテリー残量
多い
少ない

メディア (P.28)
CF SD

日時 (P.30 、83)

マニュアルフォーカス (P.50)

±0
200×
W T
1/250
PM 4:55
2005. 9.30
CF

動画撮影時の表示

静止画撮影時の表示

ボイス録音時の表示

再生画面の見かた

動画再生時の表示

静止画再生時の表示

フォルダ番号
／ファイル番号

静止画モード
（P.33）

100−0077

スライドショー
（P.39）

バッテリー残量
（P.14）

PM 4:55
2005. 9.30

日時（P.83）

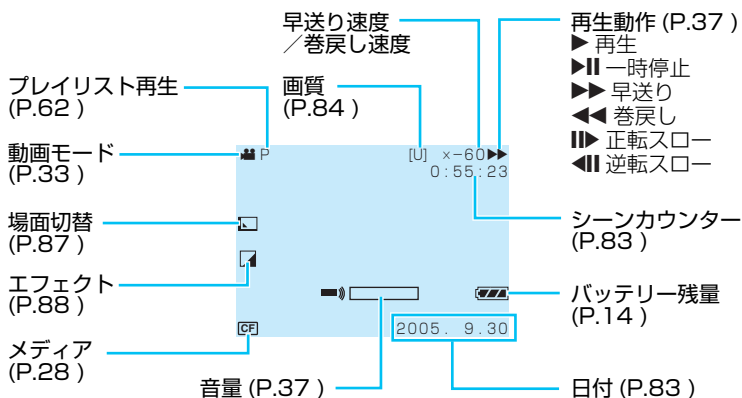
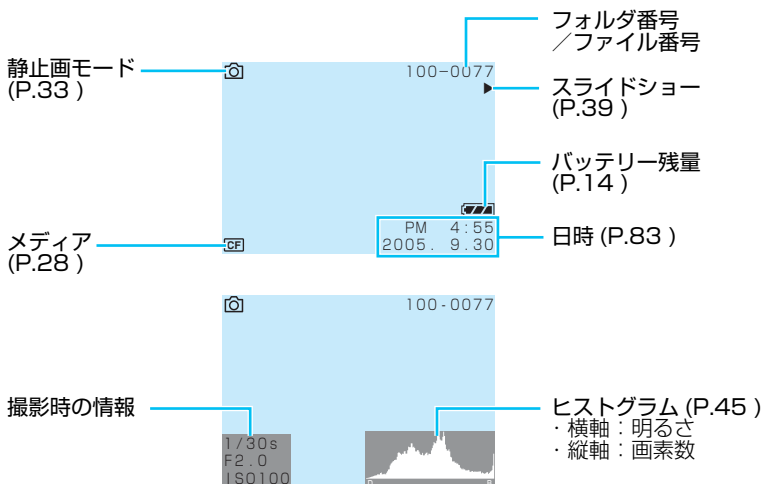
メディア
（P.28）

CF

100-0077

撮影時の情報

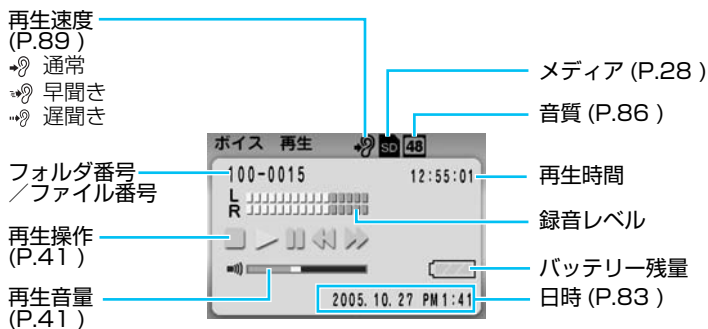
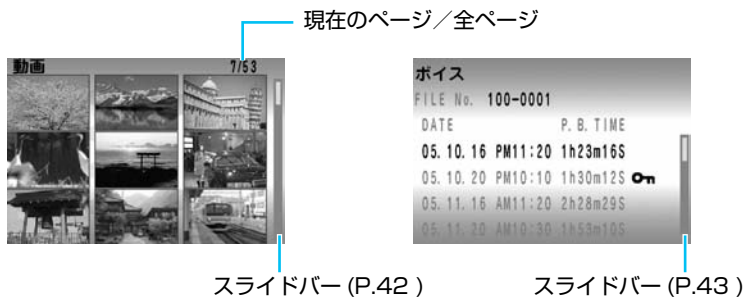
1/30s
F2.0
ISO100

ヒストグラム（P.45）
・横軸：明るさ
・縦軸：画素数

ボイス再生時の表示

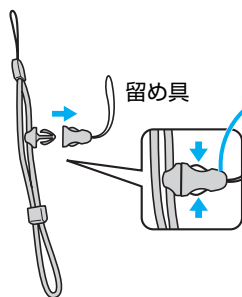
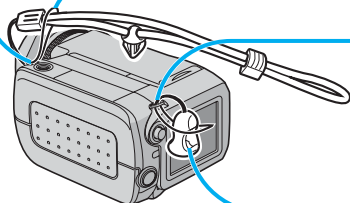
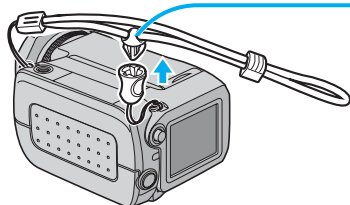
再生時のインデックス表示／ファイル情報表示

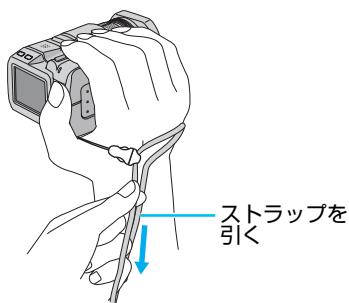
スライドバー (P.42)

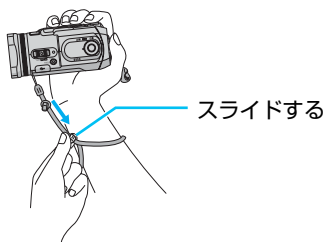
ボイス
FILE No.　100-0001
DATE　P. B. TIME
05. 10. 16 PM11:20 1h23m16S
05. 10. 20 PM10:10 1h30m12S
05. 11. 16 AM11:20 2h28m29S
05. 11. 20 AM10:30 1h53m10S

スライドバー (P.43)

■情報を見るには
INFO ボタンを押す。
元の画面に戻るには、INFO ボタンを何度か押す。

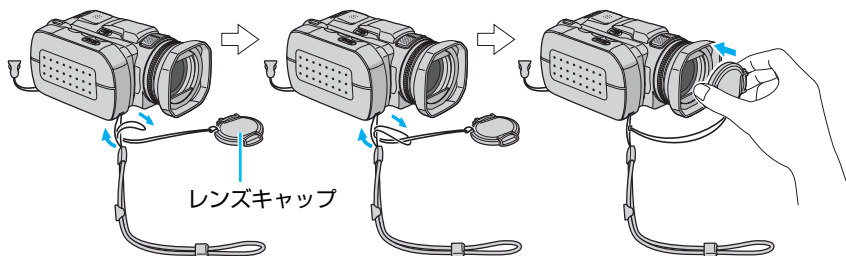
ファイル　：PIC_0001.JPG
フォルダ　：100JVCSO
作成日時　：06. 1. 1 PM 5:26
サイズ　：2560×1920
画質　：ファイン
プロテクト　：OFF

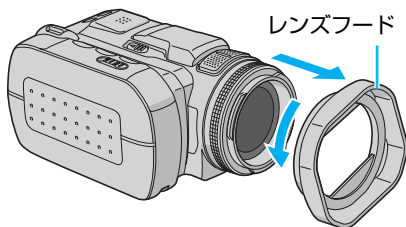
（静止画の場合）

付属品を取り付ける

ストラップを取り付ける

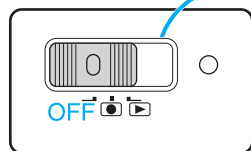
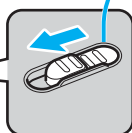
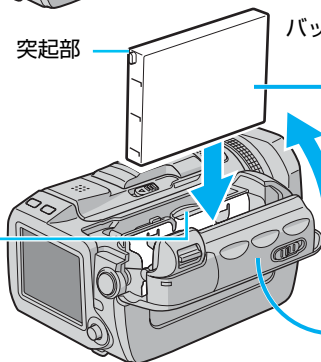
■撮影するときは

図のように持ち、軽くにぎって安定するように、ストラップを調節する。

■落とさないよう固定して撮影するには

手順 1 の操作で、ストラップから留め具を取りはずす。
ストラップに腕を通し、落とさないように手首に固定する。

レンズキャップを取り付ける

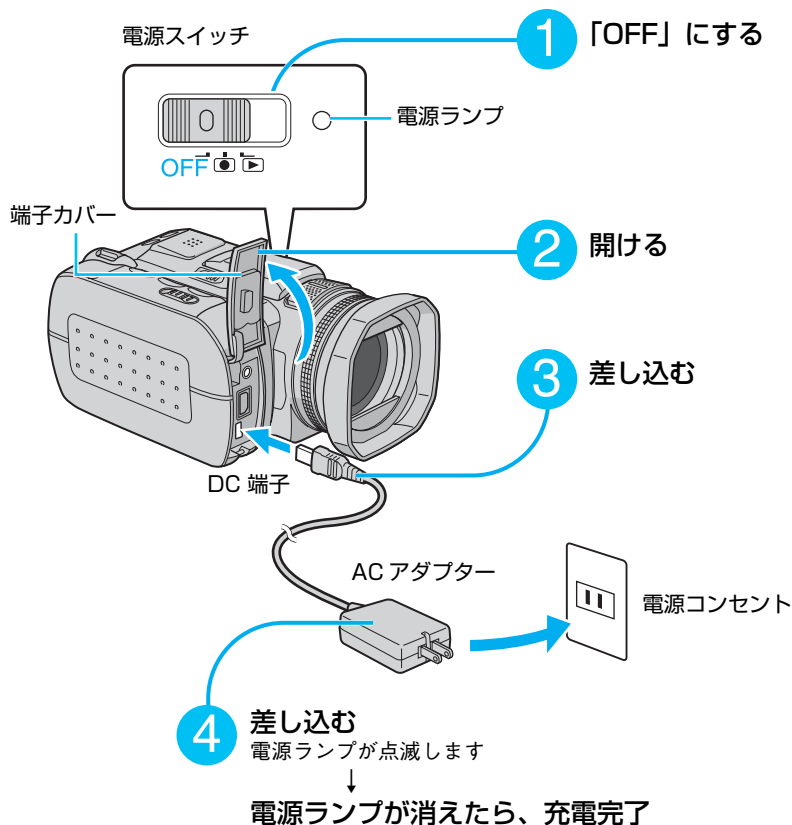
撮影しないときは、レンズの保護のために取り付けます。

■コンバージョンレンズやレンズフィルターを取り付けるときは
レンズフードを図のように回転させて取りはずす。
取り付けるときは、カメラ側の突起にレンズフードのくぼみをあわせてから、逆の方向に回転させる。

電源を準備する

バッテリーを入れる

最初にバッテリーパック (バッテリー) を入れてください。

■バッテリーを取りはずすには
手順 2 のあと、ロックをはずしてバッテリーを取り出す。

AC アダプターで充電する

ACアダプターを取り付けて、撮影のまえにバッテリーを充電してください。

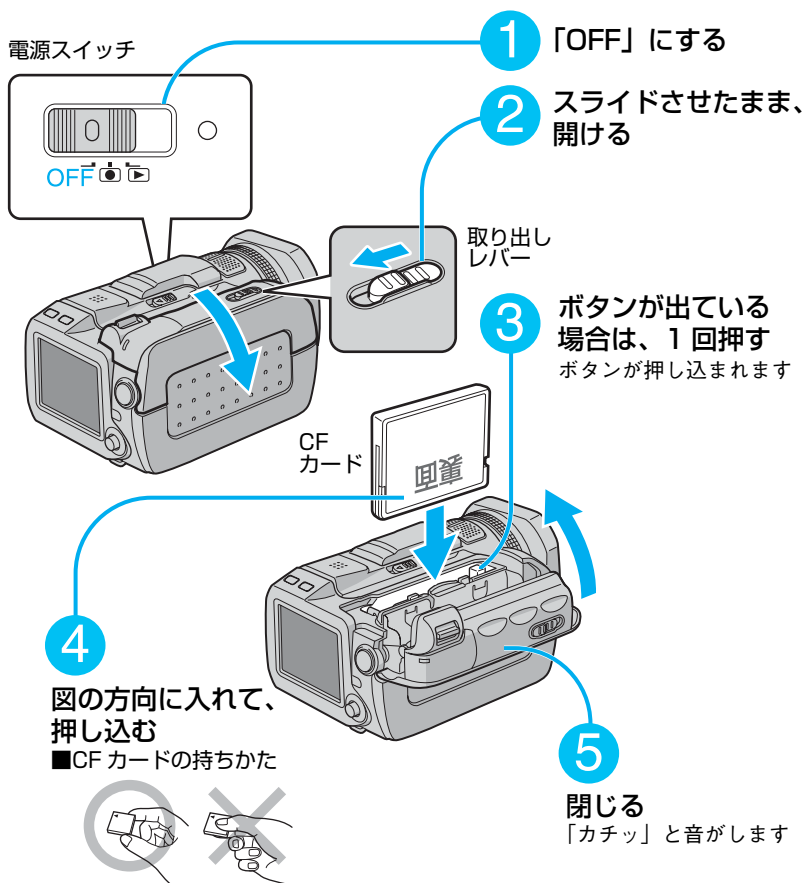
4 **差し込む**
電源ランプが点滅します
↓
電源ランプが消えたら、充電完了

■充電時間の目安は
付属のバッテリーで約 1 時間 35 分。

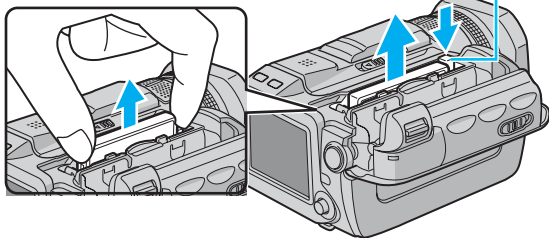
■充電が終わったら
AC アダプターを本機と電源コンセントから抜く。

■自宅で使うときなどは
AC アダプターを取り付けると、バッテリーの残量を気にせずに使うことができる。

準備する 3 記録用のメディアを入れる

撮影のまえに、メディアを入れてください。メディアには CF カードと SD カードの 2 種類があり (P.10)、一方だけを入れて使うこともできます。なお、付属の小型ハードディスクは、CF カードの一種です。

CF カードを入れる

■CF カードを取り出すには
手順 2 のあと、CF カード取り出しボタンを 2 回押す。1 回目でボタンが上がり、2 回目で CF カードが出てくる。

■付属の小型ハードディスクや新しく買った CF カードを使うには
はじめて使用するときは、フォーマットする (P.26)。

お知らせ ●電源が入った状態で CF カード用のカバーを開けると、メディアのデータを保護するために、電源が自動的に切れます。カバーを閉じてください。

SD カードを入れる

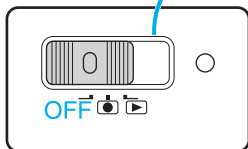
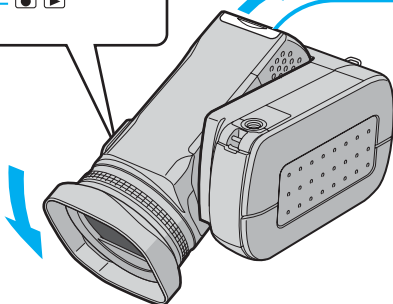
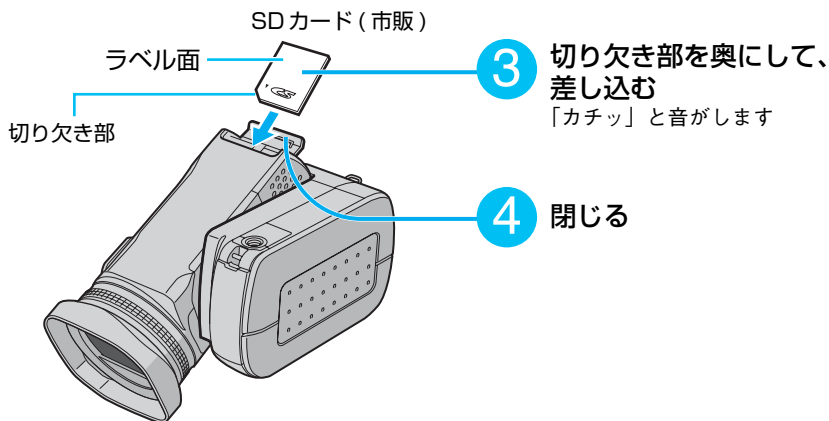
電源スイッチ

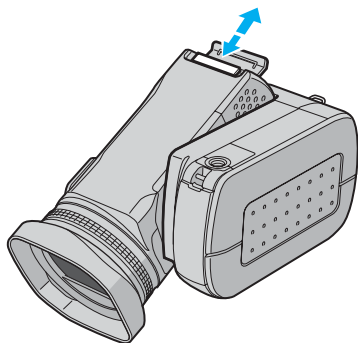
OFF

SD カードカバー

1 「OFF」にする

2 開ける

3 **切り欠き部を奥にして、差し込む**
「カチッ」と音がします

4 **閉じる**

■ **SD カードを取り出すには**
手順 2 のあと、SD カードを「カチッ」と音がするまで押し込み、取り出す。

■ **新しく買った SD カードを使うには**
はじめて使用するときは、フォーマットする (P.26)。

お知らせ ● 電源が入った状態で SD カードを取り出すと、メディアのデータを保護するために、電源が自動的に切れます。電源スイッチを動かして、電源を入れ直してください。

動作確認済みのメディア

次の記録用メディアで動作確認をしています。その他のメディアでは動作保証していませんので、市販のメディアをお使いになるときは、十分にご注意ください。

小型ハードディスク	日立製マイクロドライブ、およびビクターの別売マイクロドライブ (CU-MD04J)
CF カード	レキサー製 (LEXAR)、サンディスク製 (SanDisk)、ハギワラシスコム製 (HAGIWARA SYS-COM)
SD カード	松下製　(Panasonic)、東芝製　(TOSHIBA)、サンディスク製 (SanDisk)、PQI 製

■動画を撮影するときは

小型ハードディスク、高速タイプの CF カード (40 倍速以上)、SD カード (10MB/s 以上) をお使いください。

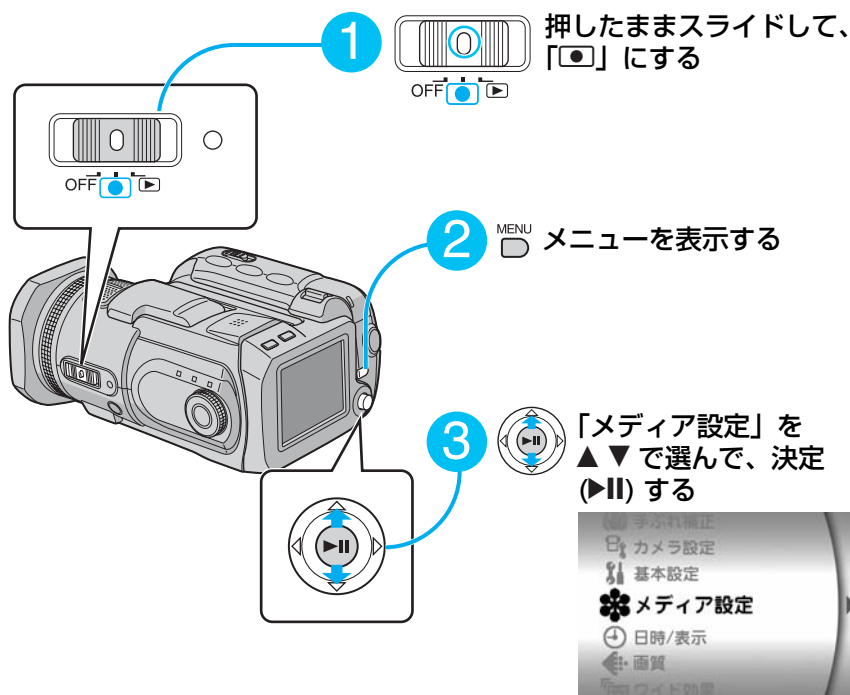
お知らせ

●その他のメディアをお使いになると、正しく記録できなかったり、すでに記録済みのデータが消去されることがあります。
●1GB 以下のマイクロドライブには対応していません。
●マルチメディアカードには対応していません。
●PQI 製の SD カードは、静止画の撮影のみ動作確認をしています。

準備する 4 メディアをフォーマットする

付属の小型ハードディスクや新しく買ったメディアをはじめて使うときは、以下の手順でフォーマットしてください。メディアへの記録速度などが安定します。

ご注意
- ファイル (動画、静止画、ボイスメモ) を記録したメディアを本機に入れているときは、注意して操作してください。フォーマットすると、プロテクト (P.88) したファイルを含めて、すべてのファイルが消去されます。
- パソコンでフォーマットしないでください。

例）小型ハードディスクや CF カードをフォーマットする場合

4 「フォーマット」を▲▼で選んで、決定（▶II）する

5 「CF スロット」を▲▼で選んで、決定（▶II）する

・ SD カードをフォーマットするときは、「SD スロット」を選びます。

6 「実行」を▲▼で選んで、決定（▶II）する

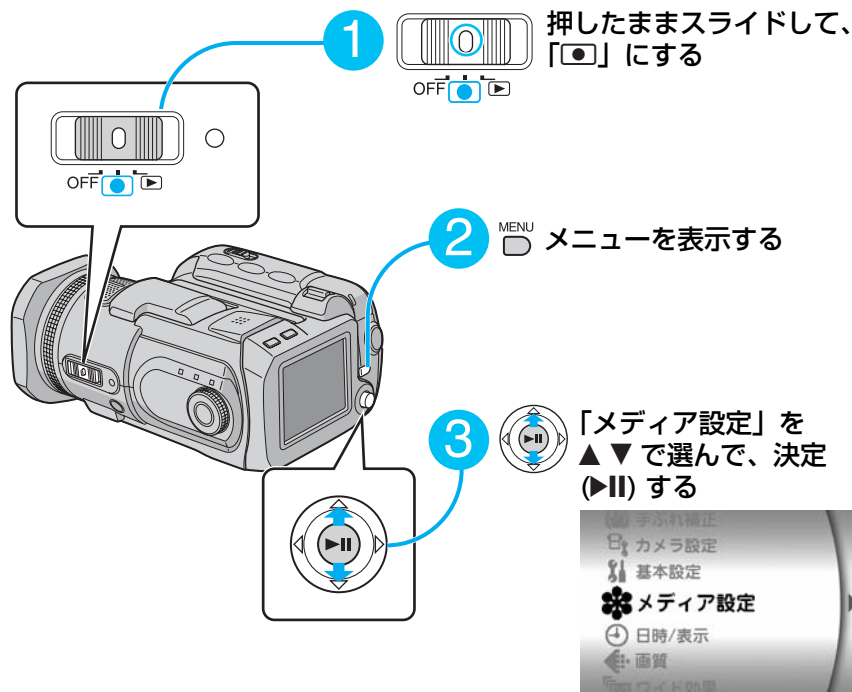
しばらくすると「フォーマットが終了しました」と表示されます

7 決定（▶II）する

8 MENU メニューを消す

準備する 5 記録先（再生先）を指定する

お買い上げ時には、動画、静止画、ボイスメモのすべてを CF カードへ記録するように設定されています。動画、静止画、ボイスメモを SD カードに記録するときは、以下の手順で記録先を変更します。

例）静止画の記録先を指定する場合

「静止画モード」を▲▼で選んで、決定（▶II）する

5 「SD スロット」を▲▼で選んで、決定（▶II）する

・ CF カードに記録するときは、「CF スロット」を選びます。

6 MENU メニューを消す

■動画やボイスメモの記録先を指定するには

手順４で「動画モード」または「ボイスモード」を選ぶ。

■再生するときは

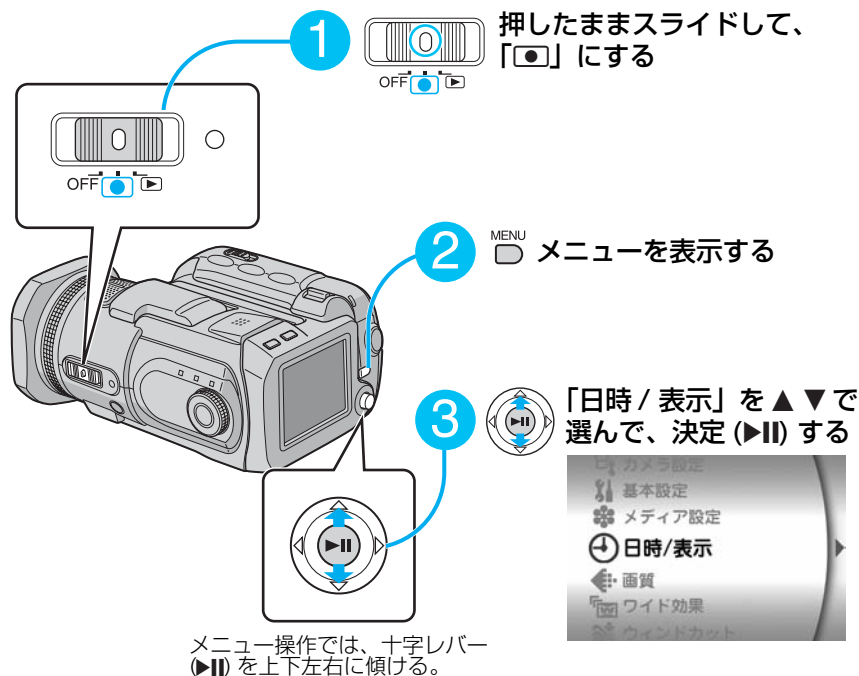
記録先にあるファイルを再生する。
別のメディアのファイルを再生するには、記録先を変更する。

お知らせ ●再生時（▶）の「メディア設定」は、撮影時（●）の「メディア設定」と連動しています。どちらで設定しても構いません。

準備する 6

時計をあわせる

お買い上げ時に年月日と時刻表示を設定してください。
海外旅行の際にも設定することをお勧めします。

メニュー操作では、十字レバー (▶II) を上下左右に傾ける。

4 「年月日時計合わせ」を▲▼で選んで、決定（▶II）する

5 西暦が選ばれているので、▲▼であわせて、決定（▶II）する

6 月日と時計の順に、同様に▲▼であわせて、決定（▶II）する

7   メニューを消す

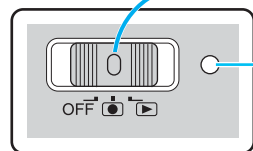
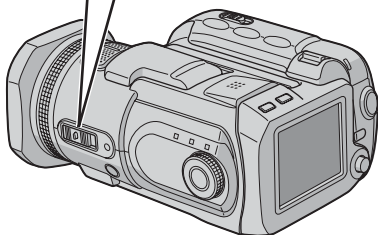
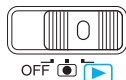
時計用電池について

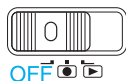
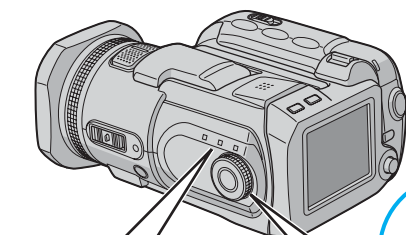
約3ヵ月間使わずに保管していると時計用電池が放電され、時計の設定が消えてしまうことがあります。このような場合、ACアダプターなどの電源を24時間以上取り付けておくと、電源の入／切に関係なく時計用電池が充電されます。充電後に時計をあわせてお使いください。
なお、時計をあわせなくても撮影できます。

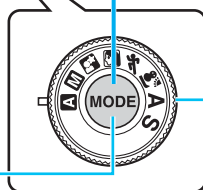
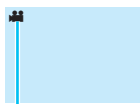
すぐ使う 1

撮影・再生の基本操作

撮影・再生・編集など、すべての場面に共通する操作です。以降のページでは、これらの操作説明を 準備 として省略する場合があります。

電源を入れる 電源スイッチ

動画／静止画／ボイスメモを選ぶ MODE ボタン

MODE ランプ

MODE ボタン

プログラム AE ダイヤル

1 押して選ぶ
MODE ランプの点灯または画面表示で確認します
・ ボイスメモを選ぶときは、2 秒以上押し続ける。

■動画 (ムービー) を撮影／再生するとき
「🎥」を点灯させる。

動画アイコン
(画面表示)

■静止画 (写真) を撮影／再生するとき
「📷」を点灯させる。

静止画アイコン
(画面表示)

■ボイスメモ (音声) を録音／再生するとき
「🎤」を点灯させる。

(画面表示)

オート撮影を選ぶ プログラム AE ダイヤル

動画や静止画を手軽に撮影するときは、オート撮影 (A) にあわせます。

1

回して、「A」にあわせる
画面左上に A が表示されます。

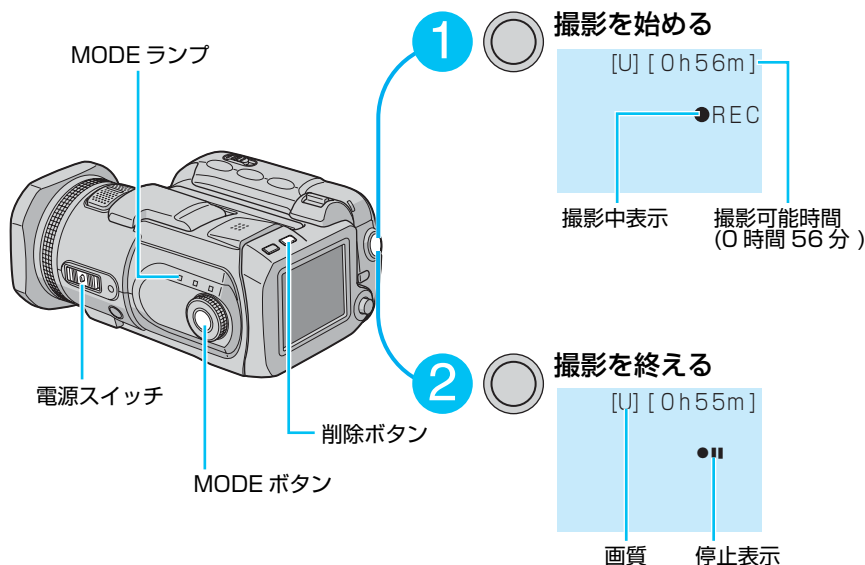
オート撮影アイコン

■設定して撮影するには (マニュアル撮影)
ダイヤルを「A」以外にあわせる (P.48)。

■再生するとき／ボイスメモを録音するとき
ダイヤルの位置はどこでも構いません。

すぐ使う 2

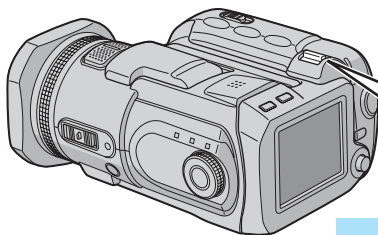
動画（ムービー）を撮る

準 備 ●電源スイッチを「[●]」にあわせる
●MODE ランプの「🎥」を点灯させる

■より長時間撮るには
画質を変更する (P.84)。

■撮影した直後に動画を削除するには
削除ボタン (🗑) を押す。

お知らせ
- 節電のため、バッテリー使用時に操作せずに約 5 分経つと電源が自動的に切れます。撮影を再開するには、電源スイッチを動かします。
- カメラの温度が上がると、画面の「REC」が点滅します。そのまま温度が上がり続けると、メディア保護のために撮影を停止することがあります。この場合、カメラの電源を切って、温度が下がるまでお待ちください (P.96)。
- 連続して撮影している場合、動画ファイルの容量が 4GB に達すると自動的に撮影を停止します。

大きく／広く撮る ズーム

被写体を大きくしたり（望遠：T）、撮影する範囲を広くしたり（広角：W）、撮影中に自由に調節できます。

●電源スイッチを「●」にあわせる

広く
大きく
W
T

ズーム倍率
現在のズーム位置
5xW
T
デジタルズーム（映像が劣化する）
光学ズーム（映像が劣化しない）

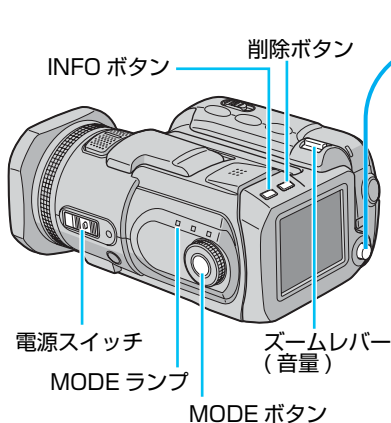
■接写するには
W 側いっぱいまで動かす。被写体に約 5cm まで接近できる。

■デジタルズームを使わずに撮影するには
メニューの「カメラ設定」で「ズーム」を「10 倍」に設定する (P.85)。

■静止画を撮影するときは
8 倍までのズームを使って撮影できる。

すぐ使う 3

動画を見る

準備
●電源スイッチを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「🎥」を点灯させる

1 再生する動画を▲▼◀▶で選んで、再生 (▶II) する

動画インデックス

2 一時停止 (▶II) する

■インデックスでの操作について
「インデックスで選ぶ」(P.42)

■動画インデックスに戻るには
一時停止中にズームレバーを W 側へ押す。

お知らせ
●シーンとシーンのつなぎ部分では、映像が一瞬止まったり、音が途切れることがありますが、故障ではありません。
●シーンとシーンを乱れないようにつなぐには、動画ファイルをパソコンに取り込み、付属のソフトウェアでファイルを結合します。そのファイルから DVD を作成すると、市販の DVD のようにつなぎ部分に乱れのない動画を楽しめます。DVD を作成するには、別紙の『簡単な DVD 作成のしかた』をご覧ください。
●カメラの温度が上がり続けると、画面の「▶」が点滅します。そのまま温度が上がり続けると、メディア保護のために再生を停止することがあります。この場合、カメラの電源を切って、温度が下がるまでお待ちください (P.96)。
●動画インデックス画面には、撮影を始めたときの映像が表示されています。

■再生時の操作について

⏮ ：ファイル先頭へ戻る

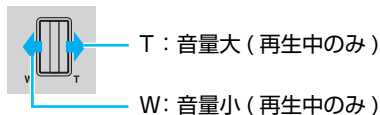
▶II ：再生／一時停止

▶▶：早送り（再生中のみ）

⏭ ：次ファイルへ進む

◀◀：巻戻し（再生中のみ）

T ：音量大（再生中のみ）

W：音量小（再生中のみ）

・一時停止中の ◀ ▶ は、コマ送りです。押し続けるとスロー再生になります。
・早送り／巻き戻し中の ◀ ▶ は、速度を変化させます。

■再生時に拡大するには（再生ズーム）
一時停止中にズームレバーを T 側に動かす。拡大中の操作は、静止画の再生ズームと同じ (P.39)。

■動画を削除するには
削除ボタン (🗑) を押す。◀ ▶ で削除する動画を変更できる。

■複数の動画を一度に削除するには
メニューの「削除」で「ファイル選択」を選ぶ (P.57)。

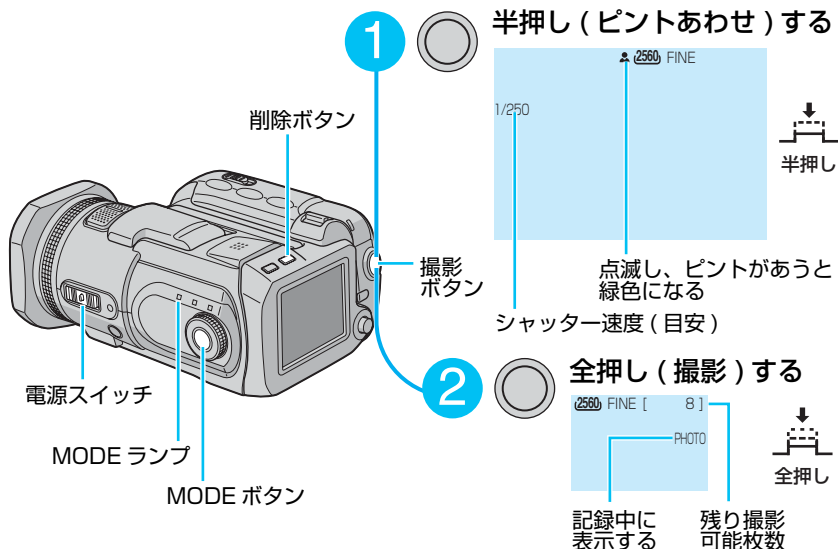
■撮影日を表示するには
メニューの「日時表示」で「オート」または「入」を選ぶ (P.83)。

■画面表示を消すには
INFO ボタンを何度か押す。

■動画のファイル情報を見るには
一時停止中に INFO ボタンを押す (P.17)。

お知らせ ●動画再生時は撮影時刻が表示されず、撮影日のみ表示されます。撮影を開始した時刻を確認するには、ファイル情報を表示してください。

すぐ使う 4 静止画（写真）を撮る

準 備 ●電源スイッチを「[●]」にあわせる
●MODE ランプの「[カメラ]」を点灯させる

■連写するには
連写を設定 (P.56) したあとに、撮影ボタン (◎) を押し続ける。

■セルフタイマーを使うには
セルフタイマーを設定する (P.85)。

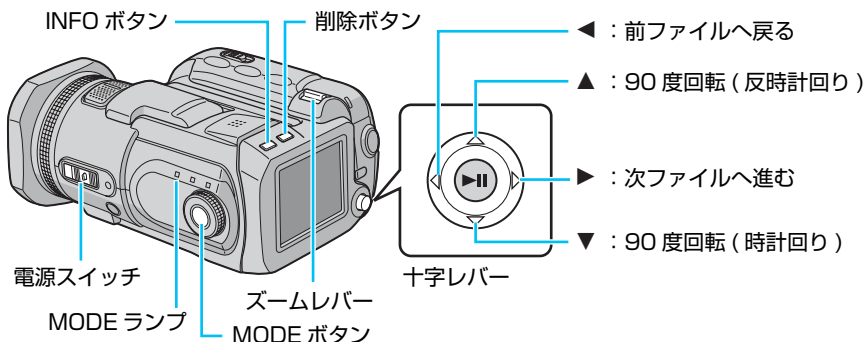
■ズームするには
ズームレバーを動かす (P.35)。

■より多く撮影するには
画質や画像サイズを変更する (P.85)。

■撮影した直後に静止画を削除するには
削除ボタン (面) を押す。

お知らせ ●節電のため、バッテリー使用時に操作せずに約 5 分経つと電源が自動的に切れます。撮影を再開するには、電源スイッチを動かします。
●オート撮影で半押しして表示されるシャッター速度は、目安の数値です。正確なシャッター速度は、撮影後にヒストグラムの画面で確認してください (P.45)。

すぐ使う 5 静止画を見る

準 備　●電源スイッチを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「📷」を点灯させる

■静止画をインデックスで選ぶには
「インデックスで選ぶ」(P.42)

■再生時に拡大するには (再生ズーム)
ズームレバーを T 側に動かす。拡大中は、十字レバーで拡大する領域を移動できる。

■静止画のファイル情報を見るには／画面表示を消すには／ヒストグラムを見るには
INFO ボタンを何度か押す (P.17 、45)。

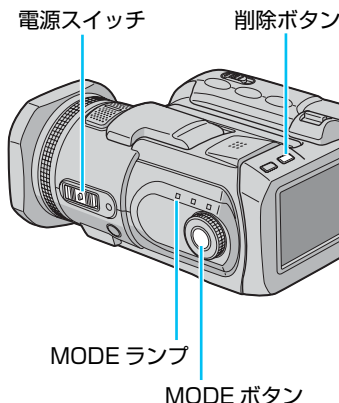
■セピア色や白黒にするには
「エフェクト」(P.89)

■スライドショーをするには
十字レバー (▶II) を押すと、静止画を順番に自動再生するスライドショーを開始できる。

■静止画を削除するには
削除ボタン (🗑) を押す。◀▶ で削除する静止画を変更できる。

■複数の静止画を一度に削除するには
メニューの「削除」で「ファイル選択」を選ぶ (P.57)。

すぐ使う 6 ボイスメモ(音声)を録音する

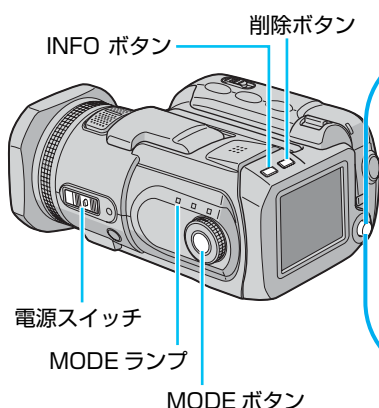
準 備
●電源スイッチを「[●]」にあわせる
●MODE ランプの「🎙」を点灯させる (MODE ボタンを押し続ける)

■より長時間録音するには
音質を変更する (P.86)。

■録音した直後にボイスメモを削除するには
削除ボタン (🗑) を押す。

すぐ使う 7 ボイスメモを再生する

準 備 ●電源スイッチを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「🎙」を点灯させる (MODE ボタンを押し続ける)

■再生時の操作について

⏮ ：ファイル先頭へ戻る
▶II：再生／一時停止
▶▶：早送り
⏭ ：次ファイルへ進む
◀◀：巻戻し

T：音量大 (再生中のみ)
W：音量小 (再生中のみ)

■ボイスメモをインデックスで選ぶには
「インデックスで選ぶ」(P.43)

■ボイスメモのファイル情報を見るには
一時停止中に INFO ボタンを押す (P.17)。

■ボイスメモを削除するには
削除ボタン (🗑) を押す。◀ ▶ で削除するボイスメモを変更できる。

■複数のボイスメモを一度に削除するには
メニューの「削除」で「ファイル選択」を選ぶ (P.57)。

すぐ使う 8

インデックスで選ぶ

動画と静止画のインデックス

準備
● 電源スイッチを「▶」にあわせる
● MODE ランプの「🎥」または「📷」を点灯させる

■ 画面にないファイルを選ぶには
ズームレバー (W) でスライドバーを選び、▲▼で動かして別の画面に切り替える。再生するファイルが表示されたら、ズームレバー (T) でファイル側に戻る。

ボイスメモのインデックス

準 備　●電源スイッチを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「🎙」を点灯させる (MODE ボタンを押し続ける)

■画面にないファイルを選ぶには

ズームレバー (W) でスライドバーを選び、▲▼ で動かして別の画面に切り替える。再生するファイルが表示されたら、ズームレバー (T) でファイル側に戻る。

テレビで見る

テレビの入力を、本機を接続した外部入力 (ビデオ 1、ビデオ 2 など) にあわせます。

■再生するには

カメラで見るときと同じ操作で再生する。動画 (P.36)、静止画 (P.39)、ボイスメモ (P.41)。

■画面の表示を消すには

INFO ボタンを何度か押す。

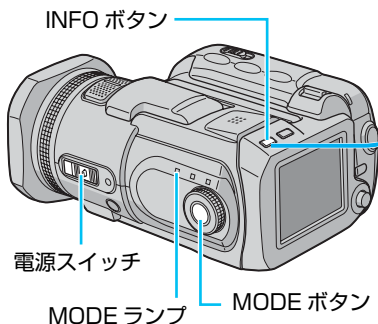
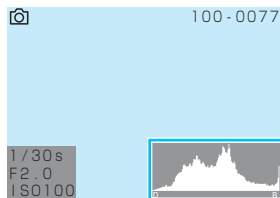
■日付などの表示を出すには

メニューで「日時表示」を「入」に設定する (P.83)。
動画再生時は、撮影時刻が表示されません (P.37)。

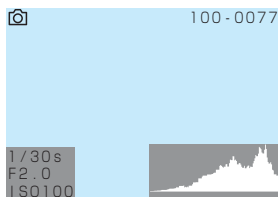
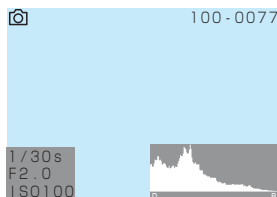
お知らせ ●お使いのテレビの説明書もあわせてご覧ください。

ヒント：ヒストグラムを活用しよう

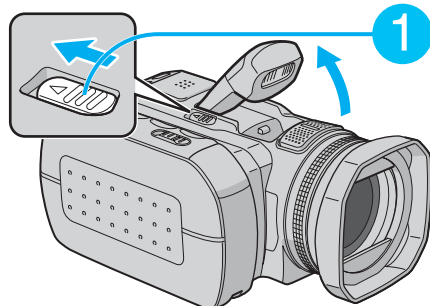
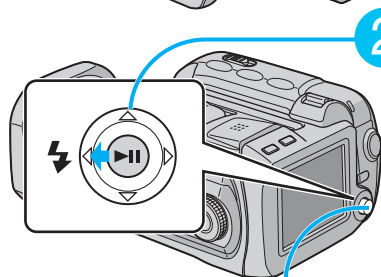
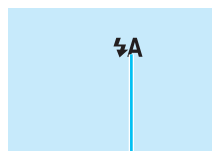
静止画の明るさをグラフで確認できます。グラフの山が右にあるほど明るいことを、左にあるほど暗いことを意味しています。

●電源スイッチを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「📷」を点灯させる

■元の画面に戻るには
INFO ボタンを何度か押す。

静止画が明るすぎるとき／暗すぎるとき

グラフの山が右端で途切れているときは明るすぎ、左端で途切れているときは暗すぎます。
適正な明るさで撮影するには、明るさを補正 (P.51) してグラフの山が途切れないようにします。

明るすぎる　　暗すぎる

フラッシュを使う

静止画を撮影する際に、フラッシュを発光させたり、被写体の目が赤くなる現象 (赤目) を軽減したりできます。

- 電源スイッチを「◉」にあわせる
- MODE ランプの「📷」を点灯させる

1 スライドして、フラッシュを開ける

2 画面右上にフラッシュアイコンを表示する

フラッシュアイコン

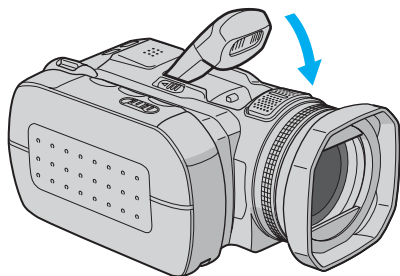
3 何度か押して、使う機能のアイコンを選ぶ

アイコン	機能名	説明
ϟA	●オート	周囲が暗いと自動的に発光する。
ϟA◉	赤目	周囲が暗いと自動的に、2 回連続発光して赤目を軽減する。
ϟ	強制オン	必ず発光する。
ϟS	スローシンクロ	シャッタースピードを遅くして必ず発光することで、人物と背景をともに明るく撮影する。(先幕)

●印は、お買い上げ時の設定です。

■フラッシュが暗く感じるときは
「感度」を「200」または「400」に設定する (P.85)。

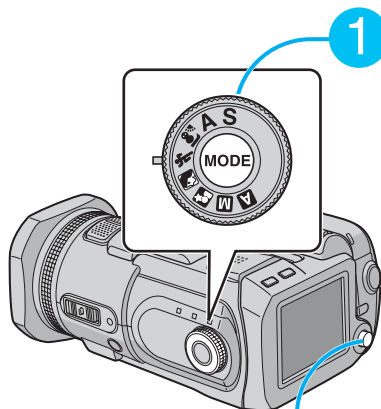
■フラッシュアイコン (ϟ) が点滅するときは
フラッシュは充電中です。アイコンが点灯するまでお待ちください。

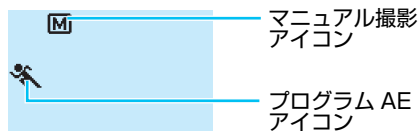
■フラッシュを使わないときは
フラッシュを上から軽く抑えて閉じる。

お知らせ
- フラッシュ、 連写、ブラケットなどは、同時に使えません。
- コンバージョンレンズを使用すると、 画面の周囲に黒い枠 (ケラレ) ができる場合があります。 このような場合、ズームレバーを T 側に動かすと、黒い枠ができにくくなります。

もっと撮る 2

マニュアル撮影する（プログラム AE）

暗いところでフラッシュを使わずに撮影するときや、動きの速い被写体を鮮明に撮影したいときなどは、プログラム AE ダイヤルを使います。

準備 ●電源スイッチを「[●]」にあわせる

1 回して、「[A]」以外にあわせる

画面に選んだアイコンと [M] が表示されます

マニュアル撮影アイコン

プログラム AE アイコン

・「A」や「S」にあわせたときは、数値 (F2.0 や 1/30 など) が表示されます。

2 数値が表示されたときは、数値を ◀ ▶ で選んで、決定 (▶II) する

■決定後に数値を変更するには

決定 (▶II) を押す。数値を ◀ ▶ で選び、再び決定 (▶II) する。

■マニュアル撮影を解除するには

ダイヤルを「[A]」にあわせる。

アイコン	機能名	役割	
A	オート撮影	明るさやピントが自動的に調節される。手軽に撮影するときに選ぶ。	
M	マニュアル撮影	以下を手動で調節するときや、静止画を連写するとき (P.56) に選ぶ。 ・ ピント (P.50) ・ 明るさ (P.51 、55) ・ ホワイトバランス (P.55) ・ エフェクト (P.55)	
	夜景	夜景などを自然な感じに撮影したいときに選ぶ。	左のアイコンにあわせたときも、「M」と同じように調節や設定できる。
	ポートレート	背景をぼかし、人物を浮き上がらせたいときに選ぶ。	
	スポーツ	動きの速い被写体を、1 コマ 1 コマ鮮明に撮影したいときに選ぶ。	
	スノー	晴れた日の雪原など、周囲が明るく映りすぎるときに選ぶ。	
A	絞り優先 (F1.8 ~ F8.0)	絞り (F 値) を設定して、絞りによる撮影効果を狙うときに選ぶ。 ・ ◀ を押して F 値を小さくする (絞りを開ける) と、ピントのあう範囲が狭くなり、背景がボケた柔らかい印象の映像になる。(被写体が明るくなることがあります。) ・ ▶ を押して F 値を大きくする (絞る) と、背景までピントのあった映像になる。(被写体が暗くなることがあります。) 動画の場合、F1.8 ~ F8.0 まで設定できる。 静止画の場合、F1.9 ~ F5.6 まで設定できる。	
S	シャッター速度優先 (1/2 ~ 1/4000)	シャッター速度を設定して、シャッター速度による撮影効果を狙うときに選ぶ。 ・ ▶ を押して数値を小さくする (シャッター速度を上げる) と、動きの速い被写体を 1 コマ 1 コマ鮮明に撮影できる。(被写体が暗くなることがあります。) 動画の場合、1/4000 まで設定できる。 静止画の場合、1/500 まで設定できる。 静止画のフラッシュ使用時は、1/250 まで設定できる。 ・ ◀ を押して数値を大きくする (シャッター速度を下げる) と、動きのある被写体の流れを撮影できる。(手ブレしやすくなるので、三脚などで固定することをお勧めします。)	

もっと撮る 3 ピントを手動であわせる

通常の撮影 (オートフォーカス) ではピントがあいにくい場合や、画面端の被写体にピントをあわせたい場合などに行います (マニュアルフォーカス)。

●電源スイッチを「[●]」にあわせる

プログラム AE ダイヤル

1 回して、「A」以外にあわせる (P.48)

画面左上に M が表示されます

マニュアル撮影アイコン

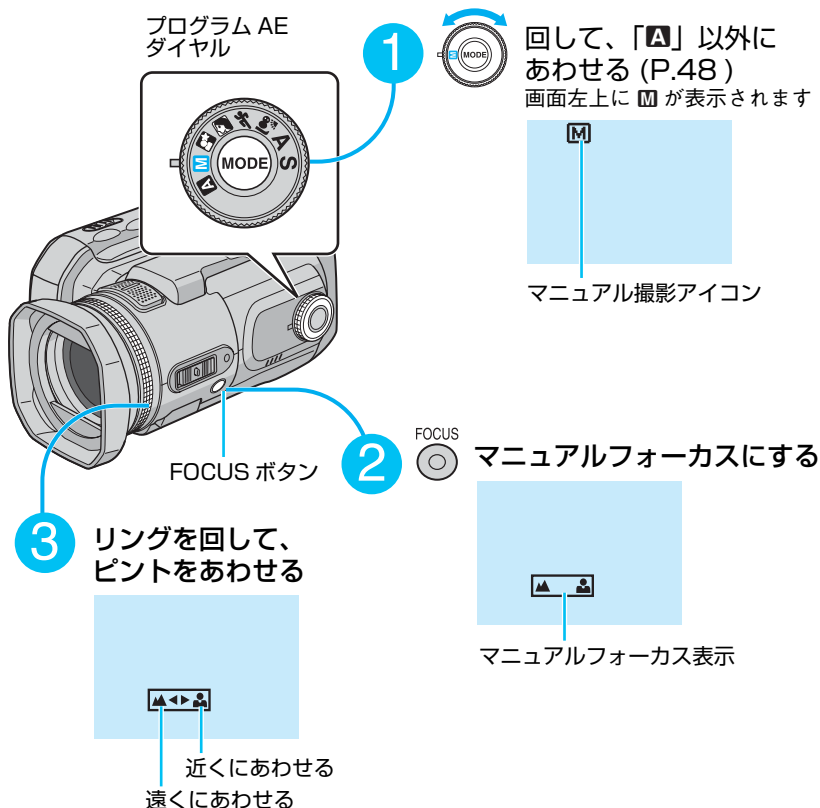
FOCUS ボタン

2 マニュアルフォーカスにする

マニュアルフォーカス表示

3 リングを回して、ピントをあわせる

近くにあわせる

遠くにあわせる

■オートフォーカスに戻すには

FOCUS ボタンを押して表示を消す。

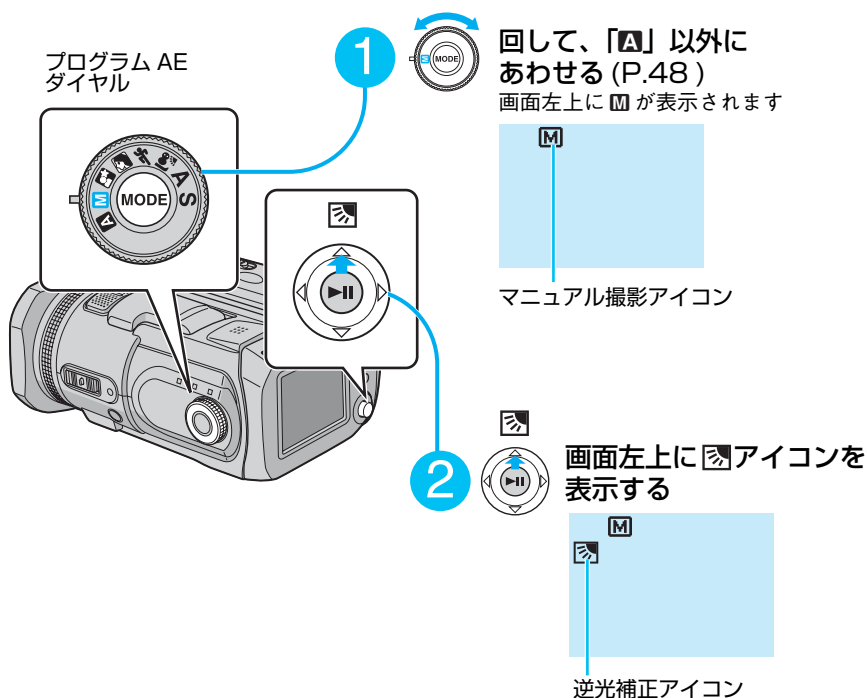
■ズームするときは

望遠 (T) 側でピントをあわせてから広角 (W) 側にズームすると、ピントがずれない。

もっと撮る 4 明るさを補正する

逆光で撮る 逆光補正

被写体の背後から光がさしているとき、被写体が暗くならないように補正します。

準 備 ●電源スイッチを「[●]」にあわせる

■逆光補正を解除するには
　 や が消えるまで、▲を押す。

最適な明るさにする スポット補正

逆光補正がうまくいかないときや、画面の一部にあわせて明るさを調節したいときなどに使います。

準 備 ●電源スイッチを「[●]」にあわせる

■スポット補正を解除するには

や が消えるまで、▲ を押す。

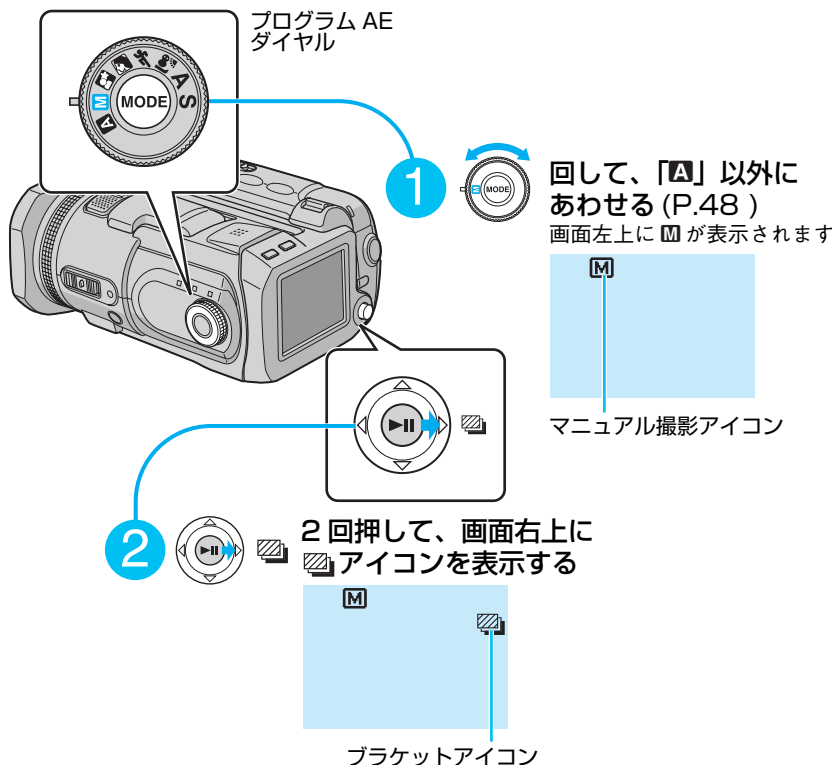
■明るさを固定するには

手順 3 で決定 (▶II) を 2 秒以上押し続け、スポット補正アイコンの隣に L を表示させる。

動きのある被写体を撮影するときや、撮影中にズーム操作をするときは、明るさを固定すると自然な映像になります。

明るさを変えて３枚撮る ブラケット

自動または手動で設定した明るさを中心に、少し明るい静止画 (+0.3EV) と、少し暗い静止画 (-0.3EV) の、３種類の静止画を続けて撮影します。再生時に最適な明るさの静止画を選ぶことができます。

準 備 ●電源スイッチを「[●]」にあわせる
●MODE ランプの「[カメラ]」を点灯させる

■ブラケットを解除するには
や が消えるまで、▶ を押す。

（お知らせ）●プログラム AE でシャッター速度優先に設定しても (P.48)、ブラケット撮影ではシャッター速度が固定されません。

手動で調節する

ホワイトバランスや明るさを調節したり、映像に効果 (エフェクト) を加えて撮影できます。

準 備 ●電源スイッチを「[●]」にあわせる

4 項目を▲▼または◀▶で選んで、決定(▶II)する

5 設定を終了する

Ⓜ SET

メニューが消え、設定した機能のアイコンが表示されます

■複数の機能を設定するには

手順4のあと、手順3～4を繰り返す。

■設定を解除するには

それぞれの設定を元に戻す。一時的に解除するには、ダイヤルを「A」にあわせる(P.48)。

メニュー	機能名	項目と意味
AE	明るさ	【動画の場合】 ● AUTO　：自動的に明るさを調節する。 －6～＋6　：この範囲で、明るさを1刻みで補正する。 【静止画の場合】 ● ±0　：明るさを補正しない。 －2.0～＋2.0：この範囲で、明るさを1/3EV刻みで補正する。 (明るさを固定するときは、設定を終了してメニューが消えたあとに、「▶II」レバーを2秒以上押し続けます。L と表示されます。)
WB	WB(ホワイトバランス)	● AUTO　：自動的にホワイトバランス調節する。 ワンタッチ　：被写体の色をより正確に調節する。 ①白い紙を用意し、画面全体に写す。 ②「 」の点滅が止まるまで、「▶II」レバーを押し続ける。 はれ　：晴れた日の屋外で撮影するときに選ぶ。 くもり　：くもり曇りの日や日陰で撮影するときに選ぶ。 ハロゲン　：ハロゲン撮影用ライトなど、照明の下で撮影するときに選ぶ。
EF	エフェクト	● OFF　：映像に効果を付けない。 セピア　：古い写真のようなセピア色で撮影できる。 白黒　：白黒映画のようにモノクロで撮影できる。 映画効果　：速いコマ落としを付けて、映画のような効果を付けられる。 ストロボ　：コマ落として、連続写真のように撮影できる。

●印は、お買い上げ時の設定です

お知らせ ●エフェクトの「映画効果」と「ストロボ」は、動画モード( )のときのみ有効になります。

もっと撮る 6

静止画を連写する

撮影ボタンを押し続けているあいだ、静止画を連写 (2 枚 / 秒) できるようになります。

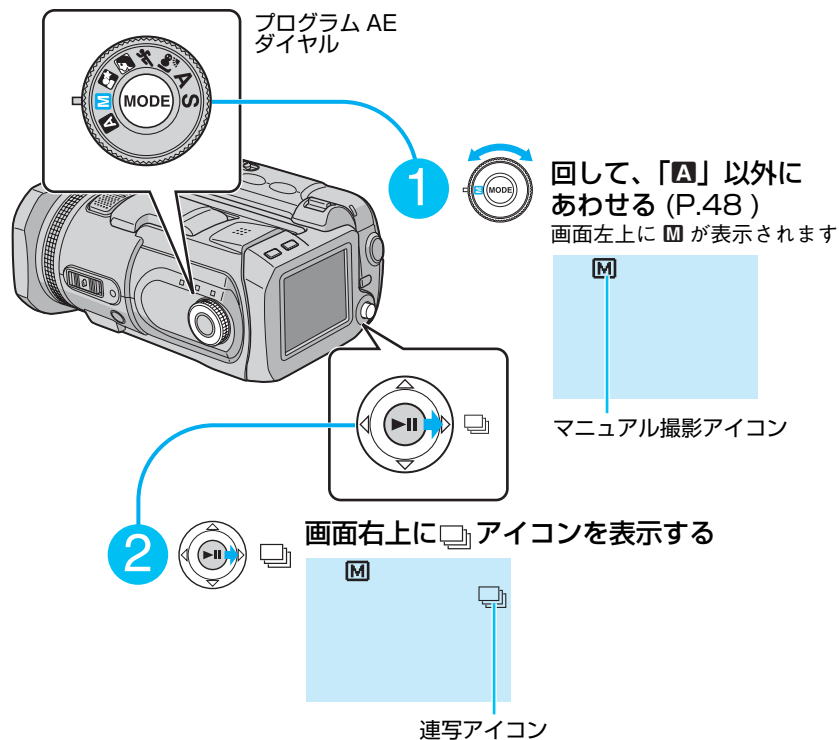
●電源スイッチを「●」にあわせる
●MODE ランプの「📷」を点灯させる

1 回して、「A」以外にあわせる (P.48)

画面左上に M が表示されます

マニュアル撮影アイコン

2 画面右上に アイコンを表示する

連写アイコン

■連写を解除するには

や が消えるまで、► を押す。

お知らせ ●お使いになるメディアによっては、連写できないことがあります。
●連写し続けると、連写速度が低下します。

もっと撮る 7 ファイルを削除する

●電源スイッチを「▶」にあわせる
●MODE ランプを削除するファイルにあわせて点灯させる

1 MENU メニューを表示する

2 「削除」を▲▼で選んで、決定 (▶II) する

3 「ファイル選択」を▲▼で選んで、決定 (▶II) する

インデックスが表示されます

4 削除するファイルを▲▼◀▶で選んで、決定 (▶II) する

ファイルに削除マーク (🗑) が付きます

5 手順４を繰り返す

6 MENU インデックスを抜ける

7 「削除を実行して終了」を▲▼で選んで、決定 (▶II) する

8 削除を終了する

9 MENU メニューを消す

■表示中のファイルのみを削除するには
手順３で「表示ファイル」を選ぶ。または、ファイルの表示中に削除ボタン (🗑) を押す。

■すべてのファイルを削除するには
手順３で「すべて削除」を選ぶ。

■削除できないようにするには
手順２で「プロテクト」を選んでプロテクトを設定する (P.88)。操作は削除と同じ。

■静止画や動画を削除のまえに確認するには
手順４でズームレバーを T 側に押し、プレビュー画面を表示する。インデックス画面に戻るには、W 側に押す。

いろいろな編集

動画の編集には 2 つの方法があります。目的にあった方法で編集してください。

テレビで見る／ビデオ機器へダビングする

本機でプレイリストを作る

1 **動画ファイルを並べる**

「プレイリストを作る」(P.60)

2 **プレイリストを再生する**

「プレイリストを再生する」(P.62)

3 **ビデオ機器へダビングする**

「ダビングする」(P.64)

DVD ビデオや Video CD を作る

パソコンで見る／編集する

1	付属の アプリケーションを インストールする	『取扱説明書 - インストール編 -』
2	動画をパソコンへ コピーする	「パソコンに接続する」(P.66)
3	付属の PowerDVD で 再生する	動画ファイル（拡張子「.MOD」）をドラッグ&ドロップします。
4	付属の PowerDirector で 動画を編集する	別紙の『簡単な DVD 作成のしかた』の裏面をご覧ください。 PowerDirector の PDF マニュアルをご覧ください。
5	付属の PowerProducer で DVD ビデオや Video CD を作る	別紙の『簡単な DVD 作成のしかた』の裏面をご覧ください。 PowerProducer の PDF マニュアルをご覧ください。
6	パソコンや市販の DVD プレーヤー などで再生する	それぞれの取扱説明書をご覧ください。

編集と印刷 2

プレイリストを作る

複数の動画を好みの順序で続けて再生するには、プレイリスト機能を使います。まず、次の操作でプレイリストを作り、動画を好みの順序に並べます。

準 備
- ●電源スイッチを「▶」にあわせる
- ●MODE ランプの「🎥」を点灯させる

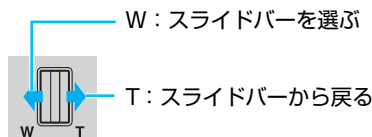
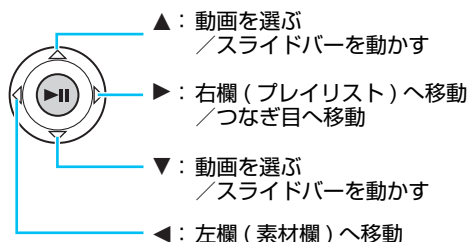
▲：動画を選ぶ／スライドバーを動かす

▶：右欄(プレイリスト)へ移動／つなぎ目へ移動

▼：動画を選ぶ／スライドバーを動かす

◀：左欄(素材欄)へ移動

W：スライドバーを選ぶ

T：スライドバーから戻る

1 MENU メニューを表示する

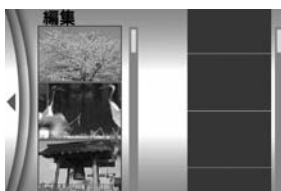
2 「プレイリスト」を▲▼で選んで、決定(▶II)する

3 「編集」を▲▼で選んで、決定(▶II)する

プレイリストの一覧が表示されます

4 「新規作成」を▲▼で選んで、決定 (▶II) する

5 素材欄の動画を▲▼で選んで、決定 (▶II) する

・スライドバーを使うこともできます。

6 挿入位置を▲▼で選んで、決定 (▶II) する

プレイリストに追加されます

7 手順 5 ～ 6 を繰り返す

8 MENU 編集を終了する

9 プレイリストを保存する

編集を終了した日時が、プレイリストの名前になります

■プレイリストから動画を削除するには
プレイリストの動画を選んで、削除ボタン (🗑) を押す。

■プレイリストの内容を確認するには
プレイリストの動画を選んで再生 (▶II) すると、選んだ動画から連続再生される。
途中で再生をやめるには、再生を一時停止 (▶II) し、ズームレバーを W 側へ押す。

■プレイリストの動画のつなぎ目を確認するには
プレイリストの動画を選び、動画と動画のつなぎ目を▶で選ぶ。再生 (▶II) すると、つなぎ目の前後 2 秒ずつを確認できる。
別のつなぎ目を確認するには、▲▼で選ぶ。
もう一度▶で動画を選んだ状態に戻る。

■既存のプレイリストを再編集するには
手順 4 で既存のプレイリストを選ぶ。

お知らせ ●最大で 99 個までプレイリストを作れます。

プレイリストを再生する

準備
- 電源スイッチを「▶」にあわせる
- MODE ランプの「🎥」を点灯させる

▶II ：プレイリストを再生する

▲▼：プレイリストを選ぶ
／スライドバーを動かす

W: スライドバーを選ぶ

T：スライドバーから戻る

1 MENU メニューを表示する

2 「プレイリスト」を▲▼で選んで、決定（▶II）する

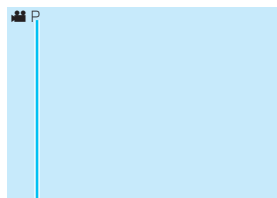
3 「一覧」を▲▼で選んで、決定（▶II）する

プレイリストの一覧が表示されます

4 再生するプレイリストを▲▼で選んで、決定 (▶II) する

・スライドバーを使うこともできます。

5 動画と同じ操作で再生する (P.36)

画面左上に「P」が表示されます

プレイリスト再生の表示

■プレイリストを構成する動画をそれぞれ再生するには

手順５の再生画面で一時停止 (▶II) し、ズームレバーを W 側へ押し、動画のインデックスを表示する。インデックスの操作は、通常の動画のインデックスと同じ (P.42)。

■プレイリストの再生を終了するには

手順４で「すべてのシーン」を選ぶと、通常の動画再生に戻る。

■プレイリストを削除するには

手順３で「削除」を選ぶ。

■プレイリストの名前を変更するには

手順３で「名前の変更」を選ぶ。キーボードが表示されるので、入力する文字を選んで決定する。

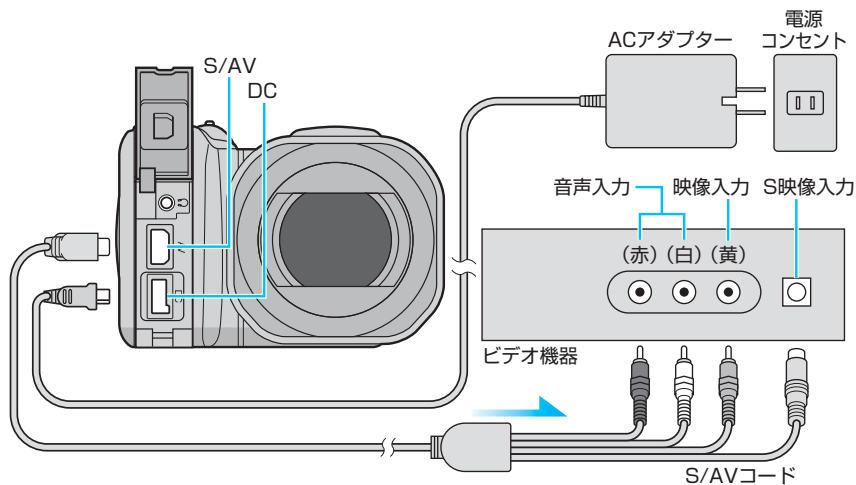
「A/a/@/ ア」: 大文字 / 小文字 / 記号 / カタカナの切り替え
「←」: 1 文字戻り
「→」: 1 文字送り
「クリア」: 1 文字削除
「キャンセル」: 保存しないで終了
「↵」: 保存して終了

お知らせ ●プレイリストの再生中は、INFO ボタンを押しても画面表示は消えません。
●オリジナルの動画を削除すると、 プレイリストからも削除されます。

ダビングする

ビデオ機器へ接続して、動画やプレイリストをダビングできます。

接続する

準備
- 電源スイッチを「▶」にあわせる
- MODE ランプの「🎥」を点灯させる

お知らせ
- お使いのビデオ機器の説明書もあわせてご覧ください。

動画をダビングする

再生側（本機）	録画側（ビデオ機器）

1 録画の準備をする

2 動画を再生（▶II）する（P.36）

3 「録画」ボタンを押す

4 「停止」ボタンを押す

プレイリストをダビングする

ダビングする際に、映像の最初と最後に約５秒間の黒画面が入ります。

再生側（本機）	録画側（ビデオ機器）

1 録画の準備をする

2 「プレイリスト」の「一覧」で、ダビングするプレイリストを選ぶ（P.62）

・ 決定ボタン（▶II）は押しません。

3 ダビング再生画面を表示する

4 「再生開始」を▲▼で選んで、決定（▶II）する

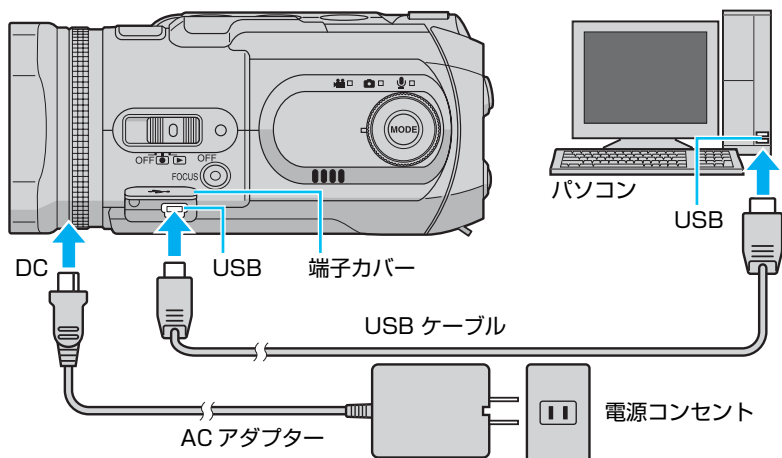
5 黒画面が表示されているうちに、「録画」ボタンを押す

プレイリストの映像が再生され、続いて黒画面になります

6 黒画面が表示されているうちに、「停止」ボタンを押す

編集と印刷 5 パソコンに接続する

付属の USB ケーブルで本機とパソコンを接続すると、ファイル (動画・静止画・ボイスメモ) をパソコンへコピーできます。

準 備
● AC アダプターを取り付ける (P.21)(推奨)
● 電源スイッチを「▶」にあわせる

USB ケーブルで接続すると、パソコンの「マイコンピュータ」に、カメラのメディアが「リムーバブルディスク」または「MICRODRIVE」として表示されます。

■動作確認済み OS
Windows Me、Windows 2000、Windows XP(いずれもプリインストール版)

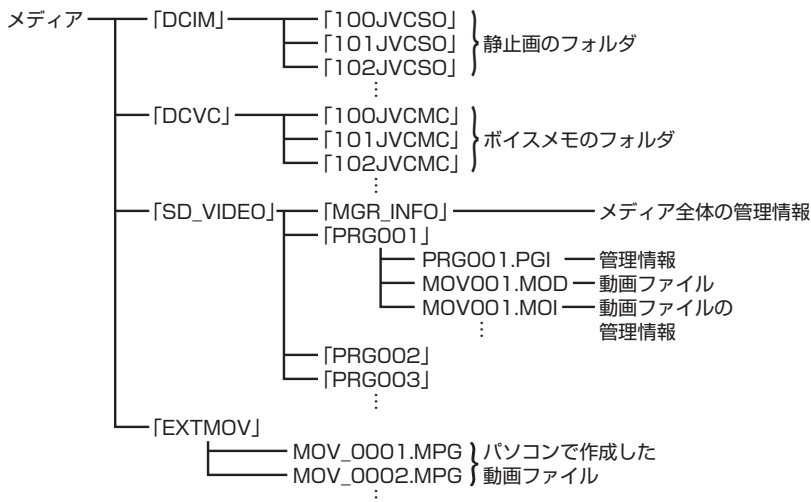
■USB ケーブルを取りはずすには
①タスクトレイの「ハードウェアの取り外し」アイコンをダブルクリックする。

②表示された画面で「停止」をクリックする。
③次の画面で「OK」をクリックする。
④ USB ケーブルを取りはずす。

■フォルダ構成

動画　　　：SD_VIDEO フォルダのなか、PRGxxx フォルダ (xxx は数字)

静止画　　：DCIM フォルダのなか、xxxJVCSO フォルダ (xxx は数字)

ボイスメモ：DCVC フォルダのなか、xxxJVCMC フォルダ (xxx は数字)

※管理情報：動画ファイルと共に記録した記録日時、記録時間などの情報のこと。

■ファイルの種類と拡張子

動画　　　：MPEG2 ファイル、拡張子「.MOD」

静止画　　：JPEG ファイル、拡張子「.JPG」

ボイスメモ：WAVE ファイル、拡張子「.WAV」

※拡張子が表示されないときは、フォルダオプションの設定を変更します。

お知らせ

- 動画ファイルの再生と加工には、付属ソフトウェアをお使いください。
- メディア内には、上記にないフォルダやファイルも記録されています。
- メディア内のフォルダとファイルは、パソコンで削除・移動・名称変更しないでください。(EXTMOV フォルダのなかのファイルは、パソコンで削除できます。)
- 動画ファイルのファイル名は 16 進数の連番でつけられます。

ファイルをパソコンにコピーする

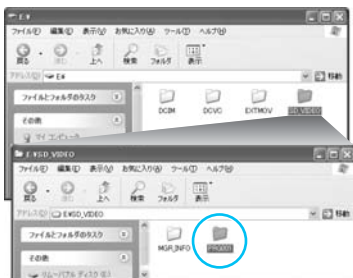
メディア内のファイルをパソコンで再生するときは、ファイルをパソコンにコピーしてから再生してください。パソコンから直接メディア内のファイルを再生すると、処理速度の問題などにより、正しく再生できないことがあります。

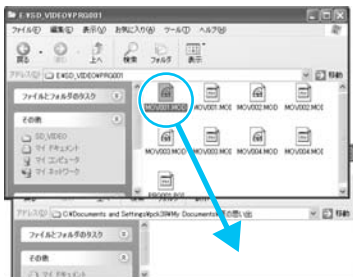
例）動画をコピーする場合

1 パソコンのなかにファイルを入れるフォルダを作る

2 「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」を開く

3 動画ファイルのあるフォルダを開く

・「フォルダ構成」(P.67)
・「ファイルの種類と拡張子」(P.67))

4 コピーする動画ファイルを選んで、パソコンのフォルダへ移す

動画ファイルがコピーされます

お知らせ ●パソコンの USB 端子が USB 1.1 端子の場合、ファイル転送に時間がかかります。USB 2.0 端子が標準装備されているパソコンをお使いになることをお勧めします。
●「マイコンピュータ」に「MICRODRIVE」と表示されていた場合は、すべてのファイルをパソコンにコピーしてから、本機でメディアをフォーマットすることをお勧めします（P.26）。パソコンではフォーマットしないでください。

パソコンから動画ファイルをコピーする

付属のソフトウェアで編集した動画ファイル (MPEG2 ファイル、拡張子「.MPG」) をカメラで再生するときは、次の手順で EXTMOV フォルダに入れます。

1 動画ファイルのファイル名を、「MOV_xxxx.MPG」(xxxx は 4 桁の数字) に変更する

2 「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」を開く

3 EXTMOV フォルダを開く

・「フォルダ構成」(P.67)

4 手順 1 の動画ファイルを、EXTMOV フォルダへ移す

動画ファイルがコピーされます

■カメラで再生できない動画ファイル
- ファイル名が正しく付けられていないもの。
- ファイル形式が MPEG2 ではないもの。
- 付属のソフトウェア以外で作成したもの。
- ビクター製ハードディスクムービー以外で作成した動画ファイルを、編集に使ったもの。

■EXTMOV フォルダの動画を再生するには
動画ファイルのインデックス画面で撮影ボタンを押し、画面に「MPG」と表示する。以後の操作は、通常の動画再生と同じ。ただし、早送り・巻戻し・スロー・コマ送り再生やプレイリスト再生はできません。

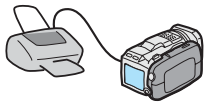
■EXTMOV フォルダの動画ファイルが不要になったときは
パソコンで削除する。

編集と印刷 6

いろいろな印刷

静止画の印刷には 3 つの方法があります。目的にあった方法で印刷してください。

・店舗のプリントサービスを使う (DPOF)
・プリンターで印刷する (PictBridge)
・パソコンとプリンターで印刷する

店舗のプリントサービスを使う (DPOF)

印刷する静止画を指定して、メディアを店舗へ持ち込む

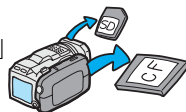
1 複数の静止画とそれぞれの印刷枚数を指定する

「DPOF で印刷する」(P.72)

2 メディアを取り出す

「記録用のメディアを入れる」(P.22)

3 DPOF 対応のプリントサービスにメディアを持ち込む

DPOF 対応の家庭用プリンターを使うこともできます。詳しくは、プリンターの説明書をご覧ください。

プリンターで印刷する（PictBridge）

PictBridge 対応プリンターに接続して印刷する

1 メニューの「ダイレクトプリント」を選ぶ

「ダイレクトプリントする」(P.74)

2 PictBridge 対応プリンターに本機を接続する

プリンターの説明書をご覧ください。

3 静止画を 1 つ選んで印刷する

あらかじめ DPOF 機能を使っておくと、複数の静止画を指定できます (P.72)。

パソコンとプリンターで印刷する

静止画をパソコンにコピーし、パソコンで印刷する

1 静止画をパソコンへコピーする

「パソコンに接続する」(P.66)

2 パソコンにプリンターを接続し、印刷する

パソコンとプリンターの説明書をご覧ください。

DPOF で印刷する

DPOF (Direct Print Order Format) 対応のプリントサービスに、メディアを持ち込んで印刷を依頼できます。メディアを持ち込むまえに、印刷する静止画と、その印刷枚数を指定しておきます。

●電源スイッチを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「📷」を点灯させる

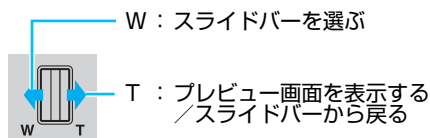
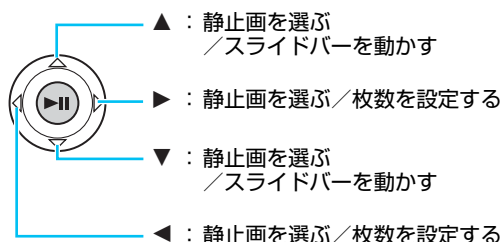
▲ ：静止画を選ぶ／スライドバーを動かす

▶ ：静止画を選ぶ／枚数を設定する

▼ ：静止画を選ぶ／スライドバーを動かす

◀ ：静止画を選ぶ／枚数を設定する

W ：スライドバーを選ぶ

T ：プレビュー画面を表示する／スライドバーから戻る

1 MENU メニューを表示する

2 「DPOF」を▲▼で選んで、決定 (▶II) する

3 「画像を選択」を▲▼で選んで、決定 (▶II) する

4 静止画を▲▼◀▶で選んで、決定 (▶II) する

・スライドバーを使うこともできます。

5 印刷する枚数 (最大 15 枚) を◀▶で選んで、決定 (▶II) する

6 MENU DPOF 設定を終了する

■複数の静止画を印刷するには
手順 4 ～ 5 を、印刷する静止画の数だけ繰り返す。

■静止画を拡大して確認するには
静止画を選んでズームレバーを T 側へ押し続けているあいだ、静止画のプレビュー画面を表示する。

■設定をキャンセルするには
同じ静止画にもう一度設定すると、設定をキャンセルできる。
手順 3 で「リセット」を選ぶと、すべての DPOF 設定をリセットできる。

■設定を確認するには
手順 3 で「設定済みを確認」を選ぶと、DPOF を設定したファイルのインデックス画面が表示される。印刷する枚数を変更できる。

■すべての静止画を 1 枚ずつ印刷するには
手順 3 で「すべて 1 枚」を選ぶ。

お知らせ ●最大で 999 枚 (種類) までの静止画を、DPOF で印刷するように設定できます。

編集と印刷 8 ダイレクトプリントする

PictBridge 対応のプリンターをお使いの場合、プリンターと本機を USB ケーブルで接続するだけで、パソコンを使わずに静止画を印刷できます。

●AC アダプターを取り付ける (P.21)(推奨)
●電源スイッチを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「📷」を点灯させる

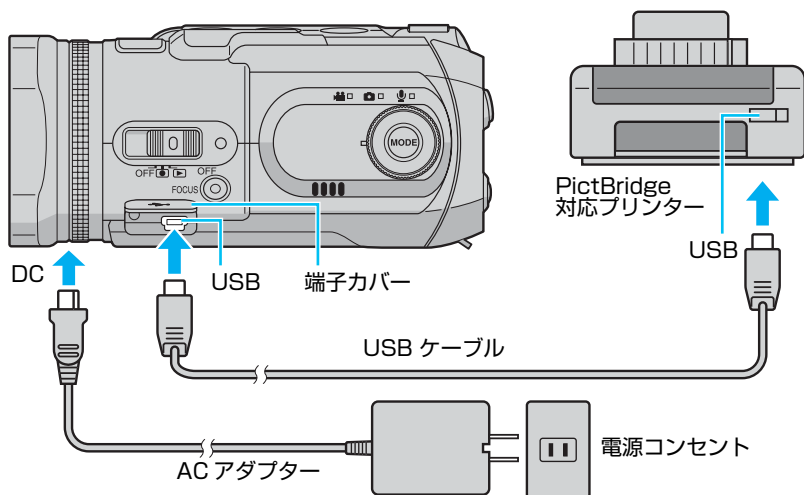
準備する

1 MENU メニューを表示する

「ダイレクトプリント」を▲▼で選んで、決定 (▶II) する

「プリンターを接続してください」と表示されます

お知らせ ●メニューで「ダイレクトプリント」を選んでから、USB ケーブルを接続します。先に USB ケーブルを接続しないでください。

プリンターを接続する

PictBridge 対応プリンターを接続してしばらく待つと、設定画面が表示されます。

お知らせ ●お使いのプリンターがPictBridge規格に対応していることを、プリンターの取扱説明書でご確認ください。
●プリンターを接続しても設定画面が表示されない場合や、ダイレクトプリントで印刷したあとにもう一度印刷する場合は、USB ケーブルを取りはずし、再びメニューで「ダイレクトプリント」を選んでから、接続しなおします。

印刷する

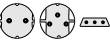
1 「選択印刷」を▲▼で選んで、決定 (▶II) する

2 印刷する静止画を◀▶で選んで、決定 (▶II) する

3 印刷する枚数を◀▶で選ぶ

4 撮影日を印刷するときは、「日付」を▲▼で選び、「入」を◀▶で選ぶ

5 「プリント」を▲▼で選び、印刷 (▶II) する

■複数の静止画をまとめて印刷するには
静止画と印刷枚数をあらかじめ DPOF で設定し (P.72)、手順 1 で「DPOF 印刷」を選ぶ。

日常のお手入れ／海外で使うときは

お手入れのまえに、バッテリーとACアダプターを取りはずしてください。

本体	●乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。 ●汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取る。 ご注意 ●ベンジンやシンナーは使わない。損傷や故障の原因になります。 ●化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従う。 ●ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない。
レンズ・液晶画面	●市販のレンズブロワーでホコリを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭く。汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因になります。

本機は海外でも、ACアダプターを使ってバッテリーを充電したり、コンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なりますので、変換プラグが必要です。

訪問国にあった変換プラグをご用意ください

コンセントの形状（主な使用国）	（北米・南米など）	（オーストラリア）	（ヨーロッパ）		
使用する変換プラグ	必要ありません				

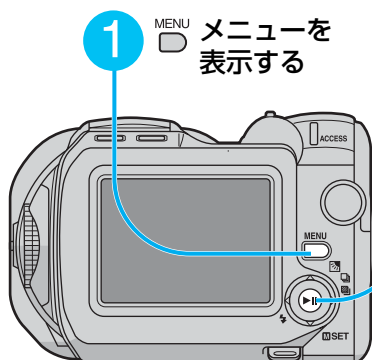
次の訪問国では、現地のテレビでも再生できます

映像・音声入力端子付きテレビが必要です。詳しくは「テレビで見る」(P.44)をご覧ください。

■アメリカ合衆国
■韓国
■コスタリカ
■トリニダード・トバコ
■バハマ
■フィリピン
■ペルー
■ミクロネシア
■エクアドル
■キューバ
■コロンビア
■ドミニカ
■バミューダ
■プエルトリコ
■ホンジュラス
■ミャンマー
■エルサルバドル
■グァテマラ
■スリナム
■ニカラグア
■バルバドス
■米領サモア
■ボリビア
■チリ
■カナダ
■グアム
■台湾
■ハイチ
■パナマ
■ベネズエラ
■メキシコ

設定する 1 メニューを表示する

画質や音質、撮影時の感度、再生時の効果 (エフェクト)、ファイルを記録するメディアなど、本機のさまざまな設定を変えることができます。また、ファイルをプロテクトしたり、メディア間で静止画をコピーしたりできます。

●電源スイッチを「●」または「▶」にあわせる
●MODE ランプを目的にあわせて点灯させる

1 MENU **メニューを表示する**

2 **第一階層の項目を ▲ ▼ で選んで、決定 (▶II) する**

3 **第二階層の項目を ▲ ▼ で選んで、決定 (▶II) する**

4 **第三階層の項目を ▲ ▼ で選んで、設定 (▶II) する**

5 MENU **メニューを消す**

お知らせ
●第二階層で終わる項目や、第四階層がある項目、一部の操作が異なる項目もあります。
●項目が表示されていても、選ばれているモード (動画／静止画／ボイス、撮影／再生) によっては設定できないものがあります。この場合、次の階層へ進めません。

■設定せずにメニューを消すには
もう一度、MENU ボタンを押す。

■ひとつ上の階層に戻るには
左 (◀) へ移動する。

■すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すには
「基本設定」の「プリセット」(P.82)

■操作ガイドを表示するには
メニュー表示中に INFO ボタンを押す。
(メニューによっては、 操作ガイドは表示されません。)

動画のメニュー

準 備
●電源スイッチを「◉」または「▶」にあわせる
●MODE ランプの「🎥」を点灯させる

■撮影 (◉) 時のメニュー

アイコン	項目 (第一階層)	ページ
	画質	P.84
	ワイド効果	P.84
	ウィンドカット	P.84
AGC	感度アップ	P.84
	手ぶれ補正	P.84
	カメラ設定	P.85
	基本設定	P.82
	メディア設定	P.82
	日時 / 表示	P.83

■再生 (▶) 時のメニュー

アイコン	項目 (第一階層)	ページ
	プレイリスト	P.87
	場面切替	P.87
	エフェクト	P.88
	プロテクト	P.88
	削除	P.88
	基本設定	P.82
	メディア設定	P.82
	日時 / 表示	P.83

静止画のメニュー

準 備 ●電源スイッチを「[●]」または「[▶]」にあわせる
●MODE ランプの「[📷]」を点灯させる

■撮影 ([●]) 時のメニュー

アイコン	項目（第一階層）	ページ
	画質	P.85
	画像サイズ	P.85
	セルフタイマー	P.85
ISO	感度	P.85
	カメラ設定	P.86
	基本設定	P.82
	メディア設定	P.82
	日時 / 表示	P.83

■再生 ([▶]) 時のメニュー

アイコン	項目（第一階層）	ページ
	DPOF	P.89
	ダイレクトプリント	P.89
	エフェクト	P.89
	プロテクト	P.89
	削除	P.89
	基本設定	P.82
	メディア設定	P.82
	日時 / 表示	P.83

ボイスメモのメニュー

準備
●電源スイッチを「[●]」または「[▶]」にあわせる
●MODE ランプの「🎤」を点灯させる

■撮影 ([●]) 時のメニュー

アイコン	項目（第一階層）	ページ
𝄞	音質	P.86
	録音レベル	P.86
	ウィンドカット	P.86
	基本設定	P.82
	メディア設定	P.82
	日時 / 表示	P.83

■再生 ([▶]) 時のメニュー

アイコン	項目（第一階層）	ページ
	再生速度	P.89
	プロテクト	P.89
	削除	P.89
	基本設定	P.82
	メディア設定	P.82
	日時 / 表示	P.83

設定する 2

撮影時と再生時の共通設定

撮影時と再生時のどちらでもメニューに表示される項目です。さらに、すべてのモード (動画・静止画・ボイスメモ) で共通です。

項目 (第二階層)		項目 (第三階層) と役割	ページ
基本設定			
	プリセット	メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す。	–
DEMO	デモモード	切 :設定しない。 ●入 :メディアを入れずに電源スイッチを撮影 (◉) に切り替えると、約 3 分後に本機の機能をデモで確認できる。	–
	操作音	切 : 操作音を消す。 ブザー : 一部の操作ではブザー音を鳴らす。 ●メロディー : 操作するごとにメロディー音を鳴らす。	–
メディア設定			
	動画モード	●CF スロット : CF カードに動画を録画する。 SD スロット : SD カードに動画を録画する。	P.28
	静止画モード	●CF スロット : CF カードに静止画を記録する。 SD スロット : SD カードに静止画を記録する。	P.28
	ボイスモード	●CF スロット : CF カードにボイスメモを録音する。 SD スロット : SD カードにボイスメモを録音する。	P.28
F←	フォーマット	メディアのなかにある動画・静止画・ボイスメモをすべて消去する。 ・ メディアをはじめてお使いになるときは、フォーマットしてください。メディアにアクセスする速度などが安定します。 ・ フォーマットすると、プロテクトしたファイルも消去されます。 ・ パソコンでフォーマットしないでください。	–
	クリーンアップ	メディアに関わる不具合を解消できることがある。 ・ 終了するまでに時間がかかることがあります。 ・ パソコンのデフラグに相当します。 ・ 万一、クリーンアップで解消できないメディアの不具合が生じた場合は、フォーマットすることで不具合を解消できることがあります。	–

項目（第二階層）		項目（第三階層）と役割	ページ
	コピー / ムーブ	コピー ：メディアとメディアのあいだで、静止画ファイルをコピーする。 ムーブ ：コピー元の静止画ファイルを消去して、コピー先へ静止画ファイルを移動する。（読み取り専用ファイルは消去されない。） ■操作例：ファイルを選んでコピーする ①「コピー」を選び、決定する ②コピーの方向を選ぶ（「SD→CF」または「CF→SD」） ③ファイル単位に「ファイル」を選ぶ（すべてもある） ④インデックス画面で、コピーするファイルを選んで決定する ⑤コピーするファイルをすべて選んだら、MENU ボタンで元の画面に戻る ⑥「実行」を選び、決定する	–
	番号リセット	新たにフォルダを作成して、「0001」からはじまるファイル名を付けて記録する。（動画は「001」） これまでのファイルと、これから撮影するファイルを区別しやすくなる。	–
	日時 / 表示		
	画面明るさ	画面の明るさを調節する。◀▶で調節し、決定(▶II)する。	–
	日時表示	【撮影用：動画または静止画】 切 ：表示しない。 ●オート ：電源スイッチを撮影 (◉) に切り替えたときに、約 5 秒間表示する。 入 ：常に表示する。 【再生用：動画または静止画】 切 ：表示しない。 ●オート ：動画や静止画を表示したときと日付が変わったときに、約 5 秒間表示する。 入 ：常に表示する。 ・ボイスメモでは、設定に関わらず常に表示する。 ・動画の再生時は、時刻を表示せず、撮影日のみを表示します。	–
0001	シーンカウンター	●切 ：表示しない。 入 ：表示する。（映像のファイル内での位置を確認できる。）	–
	LANG./ 言語	●日本語 ：メニューとメッセージを日本語で表示する。 ENGLISH ：メニューとメッセージを英語で表示する。	P.97
	年月日時計合わせ	年月日と時刻を設定する。	P.30

●印は、お買い上げ時の設定です。

撮影時の設定

動画撮影時の設定

準備
●電源スイッチを「[■]」にあわせる
●MODE ランプの「[■]」を点灯させる

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	画質	● U、F、N、E：ウルトラファイン (U) が最も高画質。ファイン (F)、ノーマル (N) と続き、エコノミー (E) が最も長時間撮影できる。	P.14
	ワイド効果	● OFF 切　：設定しない。 W ワイド TV：画面を上下方向に伸ばして撮影する。 ・テレビで見るときは、テレビを操作してワイド表示に切り替えてください。 ・メニューの「画質」で「エコノミー (E)」を選ぶと、ワイド効果が一時的に解除され、画面の W が点滅します。 ・ワイド効果を使った動画をパソコンで再生する場合、ワイド表示に対応したソフトウェアをお使いください。付属のソフトウェアのなかでは、PowerDVD が対応しています。	－
	ウインドカット	● OFF 切：設定しない。 ON 入：風の音を録音しない。（低減する。）	－
AGC	感度アップ	OFF 切：設定しない。 ● ON 入：電気的に明るく調節する。	－
	手ぶれ補正	OFF 切：設定しない。 ● ON 入：手ぶれによる映像のブレを低減する。 ・三脚などで固定して撮影するときは、「切」にします。「入」にすると、不必要な補正が行われ、不自然な映像になることがあります。 ・次の場合は補正しきれないことがあります。手ぶれが大きいとき。被写体にコントラスト（明暗差）がほとんどないときなど。	－

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	カメラ設定	ズーム：最大ズーム倍率を設定する。 10 倍　：光学ズームのみ。（画質が劣化しない。） ●40 倍　：デジタルズーム。（倍率を上げると、画質が劣化する。） 200 倍：デジタルズーム。（倍率を上げると、画質が劣化する。） テレマクロ：マクロ撮影できるように設定する。 ●切：T 側で約 1m まで接近して撮影できる。 入：T 側で約 70cm まで接近して撮影できる。	P.35

●印は、お買い上げ時の設定です。

静止画撮影時の設定

準 備　●電源スイッチを「」にあわせる
●MODE ランプの「」を点灯させる

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	画質	● ファイン　　：高画質。（撮影枚数が少ない） スタンダード：撮影枚数が多い。	–
	画像サイズ	● 2560 2560 × 1920：A4 サイズ以上を印刷したいとき。 2048 2048 × 1536：A4 サイズまでを印刷したいとき。 1600 1600 × 1200：はがきサイズで印刷したいとき。 1280 1280 × 960：パソコンで見たいとき。 640 640 × 480：撮影枚数を多くしたいとき。	–
	セルフタイマー	● OFF 切　：設定しない。 2 秒　：設定して撮影ボタンを押すと、2 秒後に撮影される。 10 秒：設定して撮影ボタンを押すと、10 秒後に撮影される。 ・撮影開始をお知らせする音を消すには、メニューの「操作音」を「切」に設定します (P.82)。	–
ISO	感度	● AUTO オート　：周囲の明るさに応じて、感度を上げる。 100 100　：ISO 100 フィルム相当に設定する。 200 200　：ISO 200 フィルム相当に設定する。（100 の 2 倍の感度） 400 400　：ISO400 フィルム相当に設定する。 ・感度の数値を大きくするとノイズが増え、静止画の質感が荒くなります。	–

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	カメラ設定	テレマクロ：マクロ撮影できるように設定する。 ●切：T 側で約 1m まで接近して撮影できる。 入：T 側で約 70cm まで接近して撮影できる。	–

●印は、お買い上げ時の設定です。

ボイスメモ録音時の設定

準 備
- ●電源スイッチを「」にあわせる
- ●MODE ランプの「」を点灯させる

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	音質	● 48 ファイン　：高音質。（録音時間が短い。） 16 スタンダード：普通の音質。 8 エコノミー　：録音時間が長い。	–
	録音レベル	● 高　：音の入力レベルを高く設定する。 標準：標準の入力レベル 低　：低く設定する。	–
	ウィンドカット	● OFF 切：設定しない。 ON 入：風の音を録音しない。（低減する。）	–

●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 4 再生時の設定

動画再生時の設定

準備
●電源スイッチを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「🎥」を点灯させる

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	プレイリスト	一覧：プレイリストを一覧表示し、再生する。 編集：新規にプレイリストを作成する。または、既存のプレイリストを編集する。 名前の変更：プレイリストの名前を変更する。 削除：プレイリストを削除する。	P.60 P.62
	場面切替	● OFF 切：場面切替を使わない。 Wh フェーダー：白：白い画面でフェードイン、フェードアウト。 Bk フェーダー：黒：黒い画面でフェードイン、フェードアウト。 B.W フェーダー：白黒：白黒画面からカラー画面にフェードイン、カラー画面から白黒画面にフェードアウト。 ワイプ：コーナー：映像が右上から左下にワイプイン、逆向きにワイプアウト。 ワイプ：ウィンドウ：ウィンドウ映像が中央から外にワイプイン、逆向きにワイプアウト。 ワイプ：スライド：スライド映像が右から左にワイプイン、逆向きにワイプアウト。 ワイプ：ドア：映像が中央から左右に開くようにワイプイン、閉じるようにワイプアウト。 ワイプ：スクロール：映像が下から上にワイプイン、逆向きにワイプアウト。 ワイプ：シャッター：映像が中央から上下に開くようにワイプイン、閉じるようにワイプアウト。	–

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	エフェクト	● 切　：エフェクトを使わない。 セピア　：古い写真のようなセピア色で再生。 B/W 白黒　：白黒映画のようにモノクロで再生。 映画効果：速いコマ落としを付けて、映画のように再生。 ストロボ：コマ落としで、連続写真のように再生。	–
	プロテクト	表示ファイル　：表示した動画を保護する、または保護を解除する。 ファイル選択　：選んだ動画を保護する、または保護を解除する。 ①インデックス画面が表示されるので、プロテクトする画像を選んで決定ボタン (▶II) を押す。誤って押したときは、もう一度押して解除する。 ②プロテクトする画像を選び終わったら、MENU ボタンを押してインデックス画面を抜ける。 すべてプロテクト：すべての動画を保護する。 すべて解除　：すべての動画の保護を解除する。	–
	削除	表示ファイル：表示した動画を削除する。 ファイル選択：選んだ動画を削除する。 すべて削除　：すべての動画を削除する。	P.57

●印は、お買い上げ時の設定です。

静止画再生時の設定

準備
●電源スイッチを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「📷」を点灯させる

項目（第一階層）	項目（第二階層）と役割	ページ
DPOF	画像を選択：印刷する静止画と印刷枚数（最大 15 枚）を指定する。 すべて 1 枚：すべての静止画を 1 枚ずつ印刷するよう指定する。 設定済みを確認：DPOF の設定を確認する。 リセット：すべての静止画の印刷枚数を 0 枚に戻す。	P.72
ダイレクトプリント	選択印刷：選んだ静止画（1 ファイル）をプリンターで印刷する。 DPOF 印刷：DPOF で指定した静止画（複数ファイル）をプリンターで印刷する。	P.74
エフェクト	● OFF 切：エフェクトを使わない。 セピア：古い写真のようなセピア色で再生。 B/W 白黒：白黒映画のようにモノクロで再生。	–
プロテクト	※動画と同じ。	P.88
削除	※動画と同じ。	P.57

●印は、お買い上げ時の設定です。

ボイスメモ再生時の設定

●電源スイッチを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「🎙」を点灯させる

項目（第一階層）	項目（第二階層）と役割	ページ
再生速度	● 通常：元の速度で再生する。 早聞き：元の 120% の速度で再生する 遅聞き：元の 80% の速度で再生する。	–
プロテクト	※動画と同じ。	P.88
削除	※動画と同じ。	P.57

●印は、お買い上げ時の設定です。

故障かなと思ったら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。
→まず、以下の表にしたがって対応する。
→解決しないときは、本機をリセットする(下記を参照)。
→それでも不具合があるときは、お買い上げ店、または ビクターサービス窓口へご相談ください。

■本機をリセットするには

①先の尖った針金などでリセット穴を押すと、電源が切れ、自動的に電源が入ります(リセット)。

②何もおきないときは、電源スイッチを「OFF」にあわせます。
続いて、本機からバッテリーとACアダプターをいったん取りはずし、再び取り付けてから、電源スイッチを「●」または「▶」にあわせます。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
メディア	メディアが入らない	●メディアの向きを確認する。	P.22
電源	電源が入らない	●ACアダプターを正しく接続する。 ●バッテリーを充電する。	P.21
撮影中	撮影できない	●CFカードスロットとSDカードスロットのカバーを閉じる。 ●電源スイッチを「●」にあわせる。 ●MODEボタンを押して、「🎥」を点灯させる。	P.22 P.32

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
撮影中		
自動でピントがあわない	●レンズにゴミや水滴などがついているときは、ゴミや水滴をきれいに拭う。 ●画面の左上に「M」アイコンが表示されているときは、「M」アイコンを消す。 ●暗いところや明暗差のないものを撮影しているときは、手動でピントをあわせる。	P.77 P.33 P.48 P.50
被写体が暗い	●「フラッシュ」や「逆光補正」を使う。 ●動画の場合、メニューの「感度アップ」が「切」ならば「入」にする。 ●静止画の場合、メニューの「感度」を「200」または「400」にする。	P.46 P.51 P.84 P.85
被写体が明るい	●逆光補正を使っているときは「切」にする。 ●マニュアル撮影の明るさ補正を「－」側に設定する。	P.51 P.55
被写体の色がおかしい	●照明や背後にいろいろな光源があるときは、ホワイトバランスの「ワンタッチ」で調節する。	P.55
映像に明るい縦の線がでる	●強い光の当たる被写体を撮影したときは、コントラストにより線がでることがあります。故障ではありません。	－
日時表示がでない	●メニューの「日時／表示」の「日時表示」を「入」にする。	P.83
デジタルズームできない	●メニューの「カメラ設定」の「ズーム」を「10 倍」以外に設定する。 ●静止画を撮影するときは、8 倍までのズームを使えます。	P.85

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
撮影中	ホワイトバランスを設定できない	●マニュアル撮影のエフェクトで「セピア」や「白黒」を選んでいるときは使えません。	P.55
撮影中	静止画の連写速度が遅い	●連写を続けると、連写速度が低下します。 ●使用するメディアや撮影条件によって、連写速度が低下します。	–
撮影中	ヘッドホンの音がでない	●S/AV ケーブルを取りはずす。	–
液晶画面	画面が暗い、または白くなる	●画面の角度や明るさを調節する。 ●寒いところでは多少暗くなります。故障ではありません。 ●寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。	P.83
液晶画面	画面が熱くなる	●電源を切ってしばらく置く。（長時間使うとバックライトが熱くなります。故障ではありません。）	–
液晶画面	画面の表示にムラがでる	●画面やまわりを押したときは、手を離してしばらく置く。（圧迫すると映像ムラが生じます。）	–
液晶画面	アイコン表示が点滅または消える	●エフェクト・ワイド効果・手ぶれ補正などの同時に使えない機能を選んでいるときは、どちらかの機能を使うのをやめる。	–
液晶画面	画面が見にくい	●直射日光下など周囲が明るいと見にくくなります。	–

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
液晶画面	画面が表示されない	●カメラを操作する。(AC アダプター使用時、何も操作せずに一定時間が過ぎると、スリープモードになり、アクセスランプが点灯し、液晶画面のバックライトが消えます。)	–
再生中	同じ映像が長く止まって見える 映像がカクカクした動きに見える ボイスメモの音声がでない	●小型ハードディスクを交換する。(小型ハードディスクに傷などが生ずると、データが読み取りにくくなり、このような状態になります。本機はできる限り再生しようとしますが、この状態が長く続いて再生できない場合は自動的に停止します。)	–
その他	MODE ランプの切り替えや電源の入／切などが遅い	●メディア内のファイルをパソコンへコピーし、メディアから削除する。(メディアに静止画などが多数 (約 1,000 ファイル以上) あると、処理に時間がかかります。)	P.66 P.89
	充電中、ランプが点滅しない	●低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電する。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。)	P.109
	通信時エラー表示がでる	●USB ケーブルを正しく接続する。	P.66

■次の場合は故障ではありません

・ 太陽光が映ると、画面が一瞬赤か黒になる。

・ 画面に黒い点、赤、青、緑の光る点がでる。
(画面には 99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の小さな点がでることが あります。)

こんな表示が出たら…

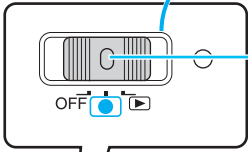
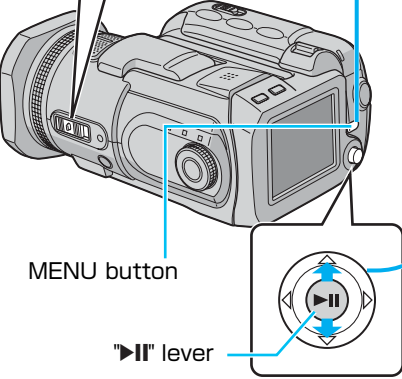
本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。
→まず、以下の表にしたがって対応する。
→解決しないときは、本機をリセットする (下記を参照)。
→それでも不具合があるときは、お買い上げ店、または
　ビクターサービス窓口へご相談ください。

■本機をリセットするには

①先の尖った針金などでリセット穴 (P.90) を押すと、電源が切れ、自動的に電源が入ります (リセット)。

②何もおきないときは、電源スイッチを「OFF」にあわせます。
続いて、本機からバッテリーと AC アダプターをいったん取りはずし、再び取り付けてから、電源スイッチを「●」または「▶」にあわせます。

表示	ここを確かめてください	ページ
日時を設定してください	●日時を設定し直す。	P.30
バッテリー残量がありません	●バッテリーを交換、または充電する。 ●AC アダプターを接続する。	P.21
レンズキャップ	●レンズキャップを取りはずす。	P.19
メディアエラー	●メディアを入れ直す。解決しないときは、動作確認済みのメディアに交換する。	P.22 P.25
記録できないメディアです	●動作確認済みのメディアに交換する。	P.25
フォーマットエラー	●メディアを入れ直す。解決しないときは、動作確認済みのメディアに交換する。	P.25

表示	ここを確かめてください	ページ
動画撮影できないスピードのメディアです	●動作確認済みのメディアに交換する。（静止画撮影とボイスメモ録音には使うことができます。）	P.25
ファイルシステムに問題がある可能性があります	●必要なファイルをコピーしてから、メディアをフォーマットする。	P.66 P.82
動画管理ファイルが壊れています	●「修復しますか？」と表示されているときは「はい」を選び、ファイルを修復する。（修復したにも関わらず、必要なファイルが動画インデックス画面に表示されないときは、EXTMOV フォルダにファイルが移動されています。）	P.69
動画管理ファイルが存在しない動画ファイルを MPG フォルダに移動しました	●EXTMOV フォルダにあるファイルの再生方法で再生する。（管理ファイル（拡張子「.MOI」）が誤って削除された場合や、動画の記録が正常に終了しなかった場合、動画ファイルは EXTMOV フォルダに移動されます。）	P.69
プレイリストの管理情報が壊れています	●プレイリストを作り直す。	P.60
プレイリストに登録されているシーンが…	●プレイリストを編集する、または作り直す。	P.60
メディアへ記録できませんでした	●振動や衝撃を与えない。 ●動作確認済みのメディアを使う。 ●クリーンアップして、メディアの性能を回復する。	P.25 P.82
メディアに正常に記録できない可能性があります	●クリーンアップして、メディアの性能を回復する。 ●撮影しなおしてください。	P.82

表示	ここを確かめてください	ページ
メディアを正常に再生できませんでした	● 再生しなおす。	–
メモリー容量がありません	● ファイルを削除するか、別のメディアにムーブする。または交換する。	P.22 P.57 P.83 P.88
動画ファイル（静止画ファイル／ボイスファイル）がありません	● 動画（静止画／ボイスメモ）を撮影／録音する。	–
未対応のファイルです	● 本機で再生できない形式なので、ほかの機器で再生する。	–
プロテクトがかかっています	● メニューの「プロテクト」で解除する。	P.88
ライトプロテクトがかかっています	● SD カードのライトプロテクトスイッチを解除する。	–
カメラの温度が上がりました	● 電源を切って待ち、カメラを冷ましてから電源を入れる。	P.34 P.36 P.104
カメラの温度が低すぎます	● カメラが温まるまで、電源を入れたまま待つ。	P.104

For English Users

To change the Menu indications etc. to English

1. Set the POWER switch to "[●]" while pressing down the LOCK button.
2. Press MENU button.
3. Move "▶II" lever up or down to select " 日時 / 表示 " and press "▶II" lever.

4. Move "▶II" lever up or down to select "LANG./ 言語 " and press "▶II" lever.

5. Move "▶II" lever up or down to select "ENGLISH" and press "▶II" lever.
   The Menu indication changes to ENGLISH.
6. Press MENU button.
   The Menu screen closes.

安全上のご注意

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。

 危険 人が死亡、または重傷を負う可能性が切迫して生じるおそれがあるもの。

 警告 人が死亡、または重傷を負う可能性があるもの。

 注意 人が重傷を負う、または物的損害が生じる可能性があるもの。

絵表示について

注意・警告が必要な事項。（図中に具体的な注意内容）

 禁止されている事項。（図中に具体的な禁止内容）

実行して頂きたい事項。（図中に具体的な実行内容）

万が一こんなときは

バッテリーをはずす／電源プラグを抜く
- 煙が出たり異臭がするとき
- 落下などにより壊れたとき
- 内部に水や異物が入ったとき
（そのまま使用すると火災や感電の原因）

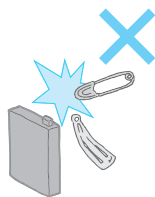
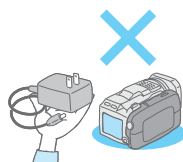
販売店に修理を依頼してください

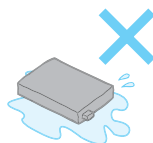
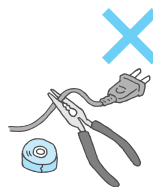
⚠危険

バッテリー

絶対に分解、加工、加熱、火中投入などをしない
- 液漏れ、発熱、破裂、発火による火災やけがの原因となります。

端子部に金属物（ネックレス、ヘアピンなど）を接触させない
- ショートによる発熱で火災や、やけどの原因となります。
- 持ち運びのときは、必ずバッテリーにキャップを付けてください。

高温（60 ℃以上）になる場所に置かない
- 発熱、破裂、発火による火災やけがの原因となります。

AC アダプター	
	本機以外に使わない ●火災や故障、感電の原因となります。 ●本機用のものか確認してからご使用ください。
	分解や改造をしない ●火災や感電の原因。 ●お客様による点検、整備、修理は危険です。 販売店にご依頼ください。

⚠警告

バッテリー	
	液もれしていたら使わない ●ショートによる発熱で、やけどの原因となります。 ●本体取り付け部をよくふいて、バッテリーを交換してください。 ●液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。 ●万一液が目などに入ったときは、きれいな水でよく洗った後、ただちに医師に相談してください。
	ぬれたバッテリーは使わない ●故障、感電、発熱、発火の原因となります。

AC アダプター	
	電源コードを傷つけない ●火災や感電の原因となります。 ●次のようなことは電源コードが傷む原因になります。 コードを持って抜く、加工する、 無理に曲げる、ねじる、引っ張る、 重いものを載せる、加熱器具に近づける。
	雷が鳴り出したら、電源プラグにふれない ●感電の原因となります。
!	**電源プラグは根元までしっかり接続する** ●火災や感電の原因となります。 ●接触不良で発熱することがあります。

ACアダプター

電源コードが傷んだときは電源プラグを抜く

- 販売店に修理を依頼してください。
- 芯線が露出したり、断線したまま使用すると、火災や感電の原因となります。

電源プラグにホコリや金属を付着させない

- 火災や感電の原因となります。
- 付着しているときは電源プラグを抜き、取り除いてください。

本体

なかに金属や燃えやすいものや、水などの液体を入れない

- 火災や感電の原因となります。

- 特にメディアの出し入れ口に注意願います。
- 降雨・降雪中、海岸・水辺などでは水が入らないよう、ご注意ください。
- ふろ場では使用しないでください。

内部の部品にさわらない

- 感電や故障の原因となります。

機器を接続するときは、電源を切る

- 感電や故障の原因となります。

分解や改造をしない

- 火災や感電の原因となります。
- 内部の点検、整備、修理は販売店にご依頼ください。

運転中に使用しない

- 交通事故の原因となります。
- 自動車などを運転しながらの撮影・再生はしないでください。

レンズを直射日光などの強い光源に向けない

- 火災や故障の原因となります。
- 集光により、内部部品が破損、過熱することがあります。

⚠注意

バッテリー

充電中に長時間ふれない

- 低温やけどの原因となります。
- 間違ってふれないような場所で充電してください。

電池を入れるときは、極性表示（＋と－）をあわせる

- 電池の破裂、液漏れにより火災、けが、周囲の汚損の原因となります。

AC アダプター

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
- 感電の原因となります。

充電中に長時間ふれない
- 低温やけどの原因となります。
- 間違ってふれないような場所で充電してください。

コードはつまずかないように配置する
- 製品の落下や転倒によるけがの原因となります。

本体

次のような場所には置かない、使わない
- 浜辺など砂ボコリの多いところ。
- 湿気やホコリの多いところ。
- 調理台や加湿機のそばなど、油煙や湯気の当たるところ。
- 熱器具の近くや直射日光の強いところなど高温になるところ。
- 火災や感電、故障の原因となります。

アクセサリー

指定のアクセサリーを使う
- 火災や感電の原因となります。
- 本機用のものか、確かめてお使いください。

付属品

付属の CD-ROM をオーディオ用プレーヤーで再生しない
- 回路やスピーカーを破損するおそれがあります。
- オーディオ用の CD ではありません。再生しようとすると過大な信号が流れるおそれがあります。

共通

移動するときは、電源プラグや接続コードをはずす
- コードの損傷による火災ややけどの原因となります。

長期間使わないときや、お手入れするときはバッテリーをはずし、電源プラグを抜く
- 感電の原因となります。
- 電源が「OFF」でも機器には電気が流れています。

5 年に一度は販売店に内部点検を依頼する
- 内部のホコリに電気が流れ、火災や感電の原因となります。
- 湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。

飛行機内での使用は、航空会社の指示に従う
- 本機の電磁波などが、計器に影響を与えるおそれがあります。

保証とアフターサービス

保証書（別添付）

保証書を販売店から受け取る際は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。その後、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から１年間です。

補修用部品の最低保有期間

当社は、ハードディスクムービーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービスにお問い合わせください。最寄りのビクターサービスは、別紙の「ビクターサービス窓口案内」にてご確認ください。

愛情点検　●長年お使いのカメラの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像や音声がでない ●異常な臭いや音がする ●水や異物が入った ●その他の異常や故障がある

ご使用を中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

修理を依頼される場合（持込修理）

「故障かなと思ったら…」(P.90) に従って調べてください。
異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーと AC アダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。本機・付属品・メディアの万一の不具合により、正常に録画・録音・再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

■ご連絡していただきたい内容

品　　　名	ハードディスクムービー
型　　　名	GZ-MC500
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	
お　名　前	
電話番号	(　　)　　－

■保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

■修理の際は
カメラと小型ハードディスクを、一緒にお持ち込みください。両方が揃っていないと不具合の原因を診断できず、正しく修理できません。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合せへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

仕様

一般

電源	AC アダプター使用時　DC 11V バッテリー使用時　DC 7.2V
消費電力	5.5W
外形寸法	80mm × 55mm × 118mm （幅×高さ×奥行き；レンズフード、最大突起部を含む）
質量	本体　約 330g 撮影時　約 400g(下記を含む) 付属バッテリー 小型ハードディスク レンズフード レンズキャップ ストラップ
動作環境	許容動作温度　0 ℃～ 40 ℃ 許容相対湿度　35%～ 80% 許容保存温度　-20 ℃～ 50 ℃

カメラ部・液晶部

映像素子	1/4.5 型 133 万画素× 3(3CCD) 撮像エリア：69 万画素× 3(動画)、123 万画素× 3(静止画)
レンズ	動画　F1.8 ～ 2.4、*f*=3.2mm ～ 32mm 静止画　F1.9 ～ 2.4、*f*=4.0mm ～ 32mm （35mm カメラ換算　動画 46.2mm ～ 462mm 静止画 43mm ～ 344mm）
フィルター径	37mm (ネジピッチ 0.75mm)
最低照度	18 ルクス
液晶画面	1.8 型、13 万画素、ポリシリコンカラー液晶

※コンバージョンレンズやレンズフィルターを取り付ける場合は、レンズフードを取りはずします (P.19)。

■撮影・再生時のズーム仕様

動画撮影時	光学ズーム 10 倍まで、デジタルズーム 200 倍まで
静止画撮影時	光学ズーム 8 倍まで
再生時	拡大再生 5 倍まで

動画

録画／再生方式	SD-VIDEO 規格準拠 MPEG-2(映像)、Dolby Digital(音声)	
信号方式	NTSC 日米標準信号方式	
画質・音質	ウルトラファイン	720 ピクセル× 480 ピクセル、8.5Mbps CBR (映像)、48kHz、384kbps(音声)
	ファイン	720 ピクセル× 480 ピクセル、5.5Mbps CBR (映像)、48kHz、384kbps(音声)
	ノーマル	720 ピクセル× 480 ピクセル、4.2Mbps VBR (映像)、48kHz、256kbps(音声)
	エコノミー	352 ピクセル× 240 ピクセル、1.5Mbps VBR (映像)、48kHz、128kbps(音声)
記録メディア	小型ハードディスク、CF カード、SD カード (詳しくは、「動作確認済みのメディア」(P.25) をお読みください。)	

■動画の撮影可能時間の目安

	小型ハードディスク		
画質モード	**2GB（市販）**	**4GB（付属）**	**6GB ※（市販）**
ウルトラファイン (720 x 480)	30 分	60 分	90 分
ファイン (720 x 480)	45 分	90 分	135 分
ノーマル (720 x 480)	60 分	120 分	180 分
エコノミー (352x240)	150 分	300 分	450 分

※ 連続して撮影している場合、動画ファイルの容量が 4GB に達すると自動的に撮影を停止します。

	SD メモリーカード / コンパクトフラッシュカード			
画質モード	**128MB (市販)**	**256MB (市販)**	**512MB (市販)**	**1 GB (市販)**
ウルトラファイン (720 x 480)	2 分	4 分	8 分	16 分
ファイン (720 x 480)	3 分	6 分	12 分	24 分
ノーマル (720 x 480)	4 分	7 分	15 分	31 分
エコノミー (352x240)	10 分	21 分	43 分	86 分

静止画

記録方式	JPEG 準拠
画像サイズ	(次の表を参照のこと) ※画像サイズが「2560 × 1920」の静止画は、データ変換して保存されています。
画質	ファイン／スタンダード
記録メディア	小型ハードディスク、CF カード、SD カード (詳しくは、「動作確認済みのメディア」(P.25) をお読みください。)

■静止画の撮影可能枚数の目安

		小型ハードディスク		
画像サイズ	**画質モード**	**2GB（市販）**	**4GB（付属）**	**6GB（市販）**
640 × 480	ファイン	9999 枚	9999 枚	9999 枚
	スタンダード	9999 枚	9999 枚	9999 枚
1280 × 960	ファイン	3285 枚	6575 枚	9865 枚
	スタンダード	5675 枚	9999 枚	9999 枚
1600 × 1200	ファイン	2230 枚	4460 枚	6690 枚
	スタンダード	3670 枚	7345 枚	9999 枚
2048 × 1536	ファイン	1385 枚	2775 枚	4160 枚
	スタンダード	2150 枚	4305 枚	6460 枚
2560 × 1920	ファイン	900 枚	1805 枚	2715 枚
	スタンダード	1415 枚	2835 枚	4255 枚

		SD メモリーカード				コンパクトフラッシュカード			
画像サイズ	画質モード	128MB（市販）	256MB（市販）	512MB（市販）	1GB（市販）	128MB（市販）	256MB（市販）	512MB（市販）	1GB（市販）
640 × 480	ファイン	780 枚	1555 枚	3140 枚	6040 枚	705 枚	1420 枚	2840 枚	5680 枚
	スタンダード	1115 枚	2225 枚	4490 枚	8635 枚	1115 枚	2235 枚	4465 枚	8930 枚
1280 × 960	ファイン	210 枚	420 枚	845 枚	1630 枚	210 枚	420 枚	840 枚	1685 枚
	スタンダード	350 枚	705 枚	1425 枚	2745 枚	350 枚	710 枚	1420 枚	2840 枚
1600 × 1200	ファイン	140 枚	280 枚	570 枚	1095 枚	135 枚	275 枚	555 枚	1115 枚
	スタンダード	225 枚	455 枚	920 枚	1775 枚	225 枚	455 枚	915 枚	1835 枚
2048 × 1536	ファイン	85 枚	170 枚	350 枚	675 枚	85 枚	175 枚	350 枚	700 枚
	スタンダード	135 枚	270 枚	550 枚	1055 枚	135 枚	270 枚	545 枚	1095 枚
2560 × 1920	ファイン	55 枚	110 枚	225 枚	435 枚	55 枚	110 枚	225 枚	450 枚
	スタンダード	85 枚	175 枚	355 枚	685 枚	85 枚	175 枚	350 枚	705 枚

ボイスメモ

記録方式	リニア PCM デジタル記録、ステレオ
音質	ファイン　48kHz、16bit、1536kbps スタンダード　16kHz、16bit、512kbps エコノミー　8kHz、16bit、256kbps
記録メディア	小型ハードディスク、CF カード、SD カード （詳しくは、「動作確認済みのメディア」(P.25) をお読みください。）

■ボイスメモの録音可能時間の目安

	SD メモリーカード / コンパクトフラッシュカード				小型ハードディスク
音質モード	128MB（市販）	256MB（市販）	512MB（市販）	1GB（市販）	4 GB（付属）
ファイン	10 分	21 分	43 分	87 分	350 分
スタンダード	33 分	66 分	132 分	265 分	1060 分
エコノミー	66 分	133 分	266 分	532 分	2130 分

端子部

S/AV 端子	S 映像出力端子 　アナログ出力（Y:1.0 V（p-p)、75 Ω　C:0.29 V（p-p)、75 Ω） 映像出力端子 　アナログ出力（1.0 V　(p-p)、75 Ω） 音声出力端子 　ステレオ／アナログ出力（300 mV　(rms)、1 kΩ）
USB 端子	ミニ USB-B タイプ、USB 2.0/1.1
ヘッドホン端子	φ2.5mm ミニミニジャック (ステレオ)

フラッシュ

推奨撮影距離	2m 以下

時計用電池

種類	二次電池 (内蔵充電式)

AC アダプター AP-V14

電源	AC 100V— 240V、50Hz ／ 60Hz
入力容量	23VA(100V)、31VA(240V)
出力	DC 11V、1A
許容動作温度	0 ℃～ 40 ℃ (充電時は 10 ℃～ 35 ℃)
外形寸法	50mm × 27mm × 71mm (幅×高さ×奥行き) (コードと AC プラグを含まず)
質量	約 100g

バッテリー BN-VM200

電圧	DC 7.2V
容量	800mAh
外形寸法	41mm × 8mm × 60mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約 38g

■充電時間の目安

バッテリー	時間
BN-VM200(付属)	1 時間 35 分

※室温 10 ℃～ 35 ℃の範囲を想定しています。

■撮影時間の目安

バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間 (最大撮影時間)
BN-VM200(付属)	30 分	1 時間
VU-V840KIT(別売)	2 時間 25 分	4 時間 50 分
VU-V856KIT(別売)	3 時間 25 分	6 時間 50 分

※VU-V840KIT および VU-V856KIT は、バッテリーを付属のバッテリーポーチに入れ、別売の DC コード (VC-VBN800) でバッテリーポーチとカメラを接続して使います。バッテリーをカメラに直接取り付けることはできません。

お知らせ

- 撮影時間は、ズームを使ったり、撮影と撮影停止を繰り返すことなどで短くなります。撮影予定時間の約 3 倍分のバッテリーを用意することをお勧めします。
- 実撮影時間は撮影、撮影停止、電源の入／切、ズーム動作などを繰り返した場合の撮影時間です。実際には、これよりも短くなることがあります。十分に充電しても撮影できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。ご了承ください。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

さくいん

ユーザー登録およびアンケートのお願い

このたびは、ビクター製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
今後のよりよい製品の開発に反映させるために、ユーザー登録およびアンケートにご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/dvc/

製品についてのご相談や修理のご依頼は

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、P.103 をご覧ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社 別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	**お客様ご相談センター** フリーダイヤル **0120-2828-17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話：(045) 450-8950 FAX：(045) 450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12
技術的なご相談	
DVご相談窓口 電話：(045)450-2770	

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV＆マルチメディアカンパニー

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

M5S7　0605HOH-HT-VP